

AHD, TVI, CVI カメラ

ICD-AH602V(IR), ICI-AH603T, ICVD-AH604V

各機種共通

GUI 説明書

取説 Ver. 5.02

<おことわり>

- この GUI 説明書は、発行時点で弊社が販売している TVI / AHD カメラに関する記述を含んでおります。従いましてお客様が購入された機種には存在しないメニューの説明が含まれている場合があります。また、この説明書が発行された後に追加された機能が含まれていない場合があります。
- 設定メニュー内の項目やその選択肢及び初期設定値は、AHD 2M Pixel (1080p) 30FPS フォーマットの場合のものです。
- この GUI 説明書は紙面の都合上、映像技術・テレビジョン技術・照明技術・電子技術等、関連技術に関する一定程度の基礎知識を有するカメラ設置技術者を対象として記述しております。



- この度は、AHD / TVI カメラをお求めいただきありがとうございます。
- 本機をご使用前に、この GUI 説明書をお読みいただき、製品の機能や操作法について、十分ご理解いただいた上で、正しく使用していただきますよう、お願い致します。

目次

1. 凡例.....	5
1.1. メニュー項目の図に使用する記号と表記法.....	5
2. 基本操作.....	5
2.1. ビデオフォーマット・ビデオモードの切換え.....	6
3. UTC 操作.....	6
3.1. DVR からの操作.....	6
3.2. VMS からの操作.....	8
3.3. NETUS-Pro からの操作.....	9
4. セットアップメニュー.....	10
4.1. メインメニュー.....	10
4.1.1. 2 MOTOR (ICI-AH603T のみ).....	12
4.1.2. 露光.....	13
4.1.2.1. オート (露光→シャッタースピード).....	14
「アイリス」を「自動光量調整」に設定した場合.....	14
「アイリス」を「電子光量調整」に設定した場合.....	15
4.1.2.2. マニュアル (露光→シャッタースピード).....	15
4.1.3. 逆光補正.....	16
4.1.3.1. ハイライト補正 (逆光補正).....	16
4.1.3.2. バックライト補正 (逆光補正).....	16
4.1.3.3. WDR (逆光補正).....	19
4.1.3.3.1. ROI (逆光補正→WDR).....	20
4.1.4. デイ&ナイト.....	21
4.1.4.1. オート (デイ&ナイト).....	22
4.1.4.2. モノクロ (デイ&ナイト).....	23
4.1.4.3. 外部 (デイ&ナイト).....	24
4.1.5. カラー.....	25
4.1.5.1. マニュアル (カラー→AWB).....	26
4.1.6. イメージ.....	27
4.1.6.1. シャープネス.....	28
4.1.6.2. 曇り除去 (イメージ).....	29
4.1.6.3. プライバシー (イメージ).....	29
4.1.6.3.1. PRIVACY BOX (イメージ→プライバシー).....	30
4.1.7. モーション.....	32
4.1.7.1. DET WINDOW (モーション).....	34

4.1.8.	システム.....	36
4.1.8.1.	OUTPUT (システム)	37
4.1.8.2.	USER (システム→IMAGE RANGE→USER)	38

警告

カメラには定期点検が必要です。

点検は、技術のあるサービスマンが行ってください。

故障を発見したら、直ちにカメラの使用を止めてください。

カメラから煙が出たり、高温になっていたりする場合は、火災の危険性があります。

頑丈な場所に取り付けてください。

カメラを天井や壁面等に取り付ける際には、落下防止のため頑丈な下地のある部分に設置してください。

安全な場所に取り付けてください。

カメラは、歩行者や自転車等が接触しない安全な場所に取り付けてください。

カメラを分解しないでください。

火災や感電の危険性があります。

濡れた手で取り扱わないでください。

感電の危険性があります。

ガスや油漏れのあるところでカメラを使用しないでください。

火災等の危険性があります。

注意

極端な温度条件の場所にカメラを設置しないでください。

カメラは-10～50℃の温度範囲でご使用ください。特に高温になる場所では換気に注意してください。

湿度の高い環境でカメラを設置及び使用しないでください。

画質が悪くなることがあります。

不安定な照明条件の場所にカメラを設置しないでください。

断続的に変化する照明やチラつきのある照明は、カメラの動作を不安定にすることがあります。

カメラの対物レンズに手を触れないでください。

カメラで最も重要な部品の一つです。指紋で汚さないようにご注意ください。

カメラを落としたり衝撃を与えたりしないでください。

故障することがあります。

カメラの正面に強い光を当て続けしないでください。

C-MOS センサーを傷めることがあります。

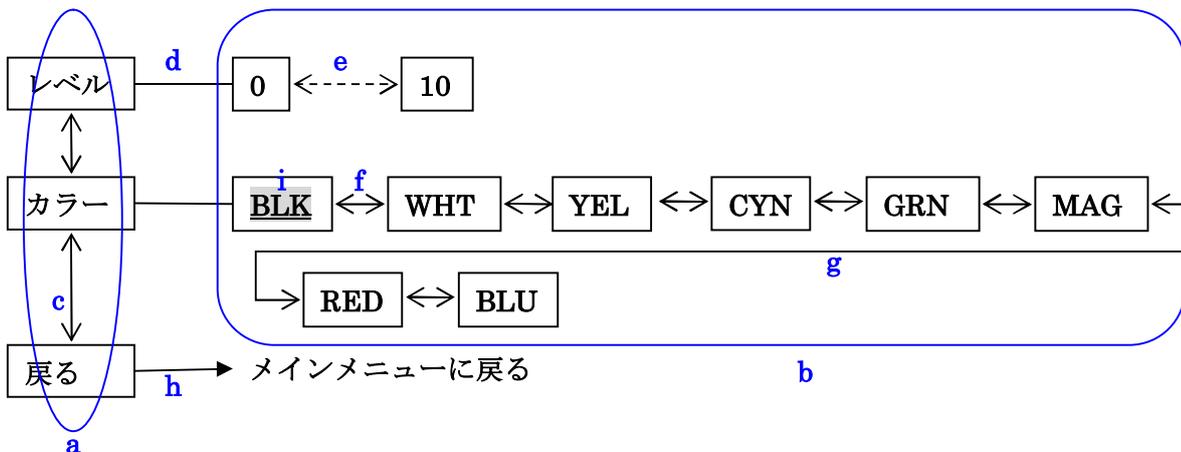
正しい電圧と極性の電源をご使用ください。

カメラの電源電圧と極性は、本体の表示に従って正しく接続してください。動作電圧範囲は特に表示がない場合、定格電圧±10%（DC12V のカメラの場合 10.8～13.2V）です。配線距離が長い場合には、電線の導体抵抗による電圧降下にもご注意ください。

1. 凡例

1.1. メニュー項目の図に使用する記号と表記法

OSD メニューの図に使用する線と矢印等には次のような意味があります。



- “a” の丸で囲った部分の四角い枠内には各メニューの項目名を示します。
- “b” の四角で囲った部分の枠内には各項目で選択可能な選択肢または調整範囲を示します。
- “c” の縦矢印は上下ボタンで選択項目を移動出来ることを示します。
- “d” の横直線は、その左側が項目名で右側がその項目の調整範囲または選択肢であることを示します。
- “e” の点線横矢印は、その項目が調整項目であることを意味し、その両側が調整範囲の下限と上限を示します。
- “f” の左右矢印は、その項目が選択項目であることを意味し、その両側が選択肢であることを示します。また、紙面の都合で1行に収まらない場合は“g”の迂回矢印で続きを次の行に記述します。
- “h” の三角矢印は、その向きに関係なく“SETUP”ボタンを押すことで、矢印の先に記述された項目にジャンプすることまたは、コマンドを実行することを示します。
- “i” の強調表示はカメラをリセットした場合の初期設定値であることを示します。

2. 基本操作

カメラの OSD メニュー操作は、UTC 制御による遠隔操作で行います。

制御を実行するには、DVR の PTZ 設定が UTC 制御のために適切に設定されている必要があります。

DVR 等で UTC 制御を行うためには、DVR 等の設定が適切に行われている必要があります。弊社製の PDR シリーズ及び IRV-HV8000, AT6000, A7000 シリーズでは PTZ 設定をして、PTZ 操作のユーザーインターフェースを使用します。

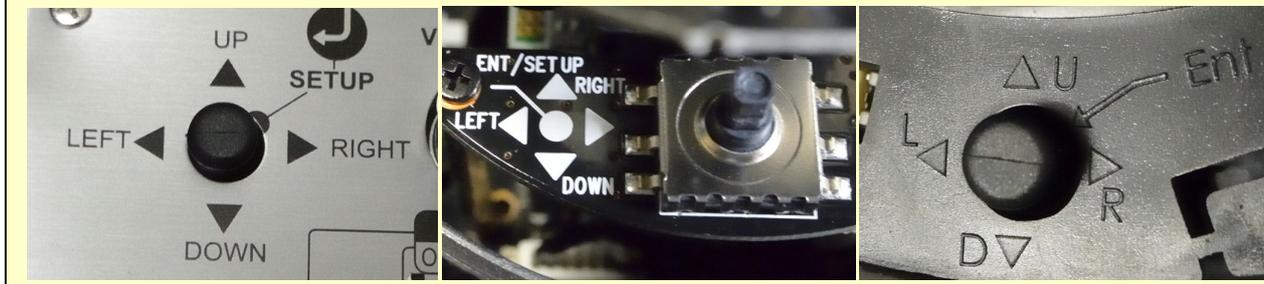
OSD ノブまたはボタンは本マニュアル執筆時点では搭載されていませんが、今後の製品で対応の可能性があるため予定機能として記述します。

< 予定機能 >

ニュー階層へのジャンプに使用します。

< 注意 >

- 上下左右の方向ボタンの操作方向は、**パネルや基板に印字または刻印された標識の方向**に従ってください。**地表から見た方向ではありません**のでご注意ください。



2.1. ビデオフォーマット・ビデオモードの切換え

本機はビデオフォーマットを AHD と TVI 及び CVI から選択出来、さらにビデオモードを NTSC (垂直周波数=60 / 30Hz) と PAL (垂直周波数=50 / 25Hz) から選択できます。

従って、これらの組み合わせは全部で 6 種類存在します。

ビデオモード	ビデオフォーマット	解像度	垂直周波数
NTSC	AHD	1080p	30Hz
	TVI		
	CVI		
PAL	AHD	25Hz	25Hz
	TVI		
	CVI		

本機のビデオフォーマットとビデオモードはメニュー操作で切り替えます。詳しくは「**OUTPUT (システム)**」を参照してください。 **参照**→37 ページ

3. UTC 操作

本機は、弊社の IRV-HV8000, AT6000, A7000 (発売予定) シリーズの DVR からメニューの遠隔操作が出来ます。DVR から UTC 制御が出来るようにするには、DVR で UTC 制御が可能な状態に設定していただく必要があります。詳しくは DVR の設置取扱説明書をご覧ください。

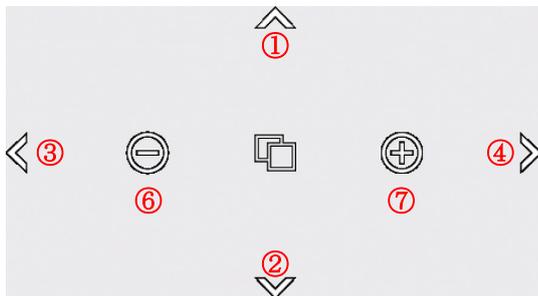
本機で利用可能なプロトコルは「COAX_OSD」です。

< 注意 >

- カメラと DVR の間に UTC 非対応機器が接続されている場合、UTC 制御は利用できません。

3.1. DVR からの操作

DVR の PTZ 操作の次のボタンが OSD ノブの操作に対応します。



簡易操作画面



詳細操作画面

番号	OSD ノブの対応	備考
①	UP(上)	メニュー内でのみ利用可能です。ズーム操作には利用できません。
②	DOWN(下)	メニュー内でのみ利用可能です。ズーム操作には利用できません。
③	LEFT(左)	メニュー内でのみ利用可能です。フォーカス操作には利用できません。
④	RIGHT(右)	メニュー内でのみ利用可能です。フォーカス操作には利用できません。
⑤	S(中央)	
⑥	DOWN(下)	ズームをワイド (広角) 方向に動かします。
⑦	UP(上)	ズームをテレ (望遠) 方向に動かします。
⑧	RIGHT(右)	フォーカスを近くに動かします。
⑨	LEFT(左)	フォーカスを遠くに動かします。

3.2. VMS からの操作

VMS の PTZ 操作の次のボタンが OSD ノブの操作に対応します。



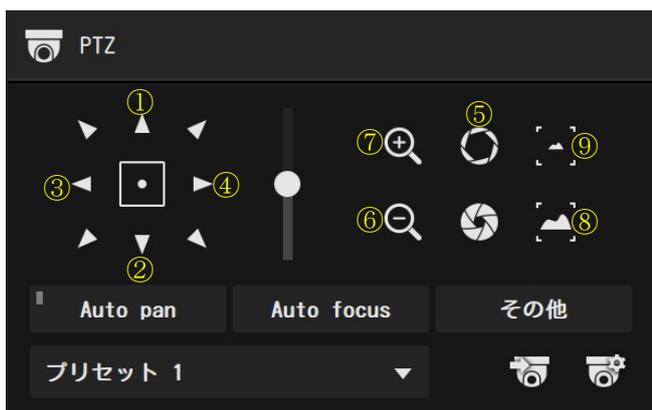
番号	OSD ノブの対応	備考
①	UP(上)	メニュー内でのみ利用可能です。ズーム操作には利用できません。
②	DOWN(下)	メニュー内でのみ利用可能です。ズーム操作には利用できません。
③	LEFT(左)	メニュー内でのみ利用可能です。フォーカス操作には利用できません。
④	RIGHT(右)	メニュー内でのみ利用可能です。フォーカス操作には利用できません。
⑤	S(中央)	
⑥	DOWN(下)	ズームをワイド (広角) 方向に動かします。
⑦	UP(上)	ズームをテレ (望遠) 方向に動かします。
⑧	RIGHT(右)	フォーカスを近くに動かします。
⑨	LEFT(左)	フォーカスを遠くに動かします。

< 注 意 >

- ネットワーク経由の UTC 制御は、通信事情により遅延が発生する場合があります。操作してから表示が変化するまでに時間がかかる場合は、1 回毎に表示の変化を確認しながらゆっくり操作してください。
- ネットワーク経由の UTC 制御は、通信事情により命令が到達しない場合があります。
- P2P 接続の場合、UTC 制御はご利用いただけません。

3.3. NETUS-Pro からの操作

NETUS-Pro の PTZ 操作の次のボタンが OSD ノブの操作に対応します。



番号	OSD ノブの対応	備考
①	UP(上)	メニュー内でのみ利用可能です。ズーム操作には利用できません。
②	DOWN(下)	メニュー内でのみ利用可能です。ズーム操作には利用できません。
③	LEFT(左)	メニュー内でのみ利用可能です。フォーカス操作には利用できません。
④	RIGHT(右)	メニュー内でのみ利用可能です。フォーカス操作には利用できません。
⑤	S(中央)	
⑥	DOWN(下)	ズームをワイド (広角) 方向に動かします。
⑦	UP(上)	ズームをテレ (望遠) 方向に動かします。
⑧	RIGHT(右)	フォーカスを近くに動かします。
⑨	LEFT(左)	フォーカスを遠くに動かします。

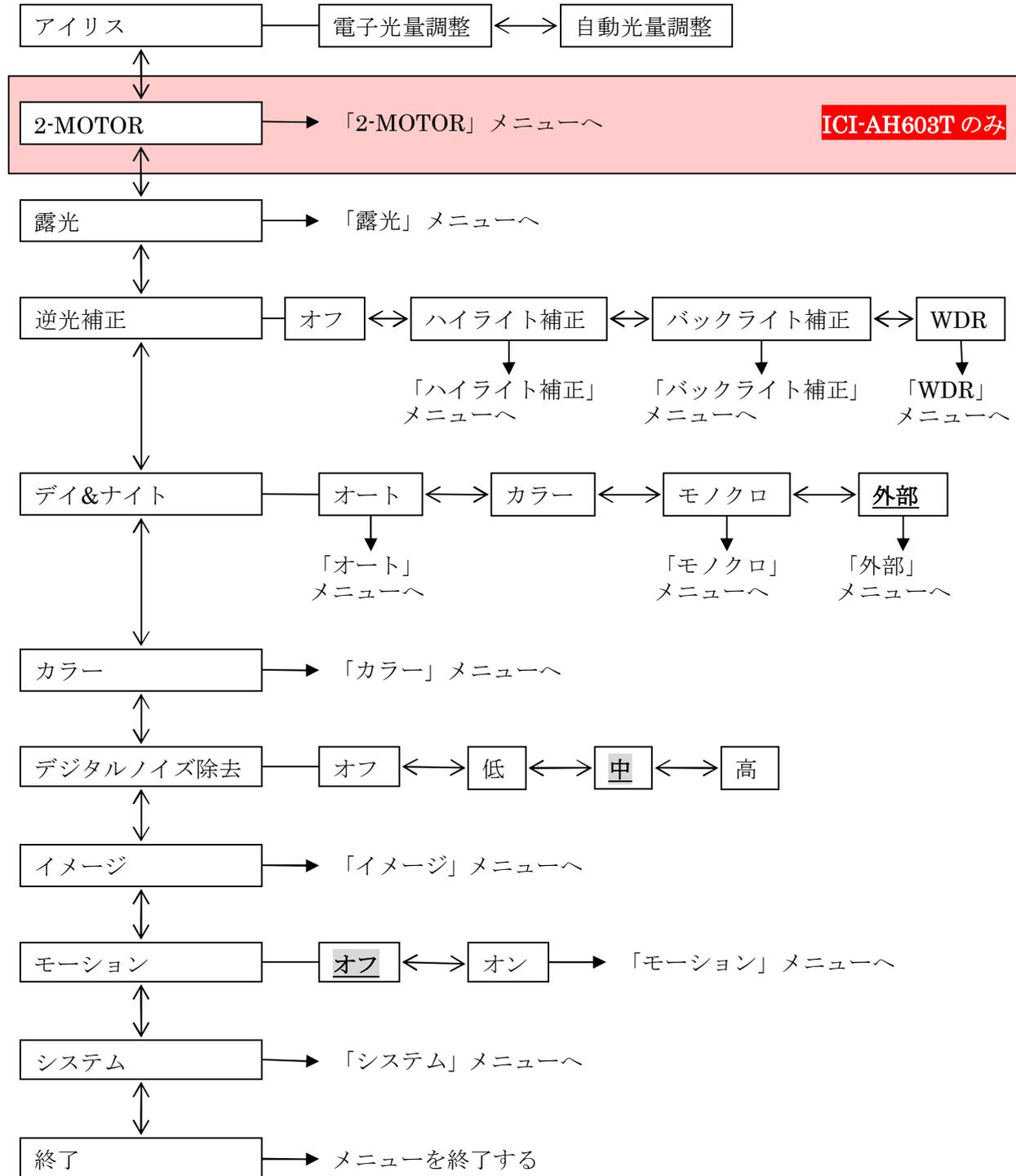
< 注 意 >

- ネットワーク経由の UTC 制御は、通信事情により遅延が発生する場合があります。操作してから表示が変化するまでに時間がかかる場合は、1 回毎に表示の変化を確認しながらゆっくり操作してください。
- ネットワーク経由の UTC 制御は、通信事情により命令が到達しない場合があります。
- P2P 接続の場合、UTC 制御はご利用いただけません。

4. セットアップメニュー

4.1. メインメニュー

メニューが表示されていない状態から OSD ノブをまっすぐ押す (S) とメインメニューに入ることができます。メインメニューを終了するには、メインメニューで「終了」を選択します。



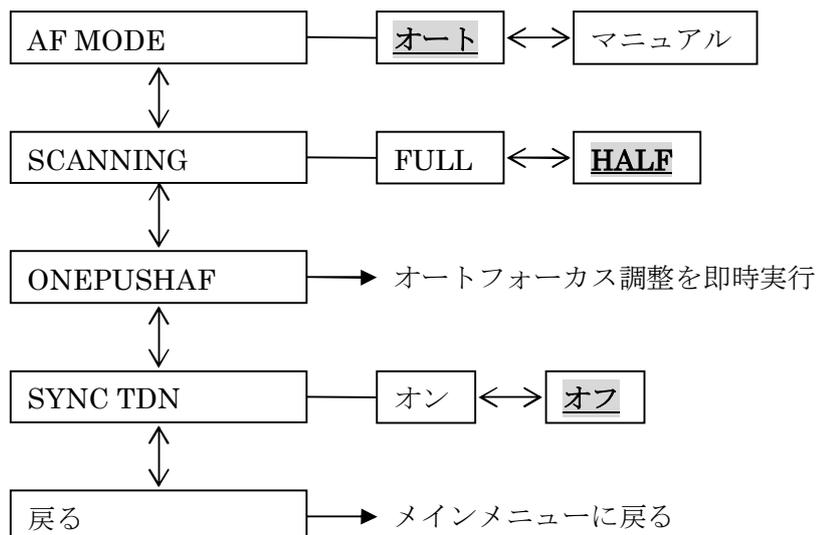
メインメニューの中には次表の項目があります。

項目	説明
レンズ	<p>搭載されているレンズの種類に合わせて次のモードを選択します。</p> <p>自動光量調整：DC オートアイリスレンズが搭載されているカメラでは、こちらを選択します。（初期設定：ICD-AH602V(IR) , ICVD-AH604V)</p> <p>電子光量調整：アイリスを持たないレンズが搭載されている機種用のモードです。マニュアルフォーカス機能を利用する場合には、調整中に一時的にこちらのモードを使用するとフォーカスが合わせ易くなります。（初期設定：ICI-AH603T）</p>
2-MOTOR (ICI-AH603T のみ)	<p>「2-MOTOR」メニューに入ります。このメニューではオートフォーカスとズームに関する設定が出来ます。詳細→12 ページ</p>
露光	<p>「露光」メニューに入ります。このメニューでは被写体の明るさに適したカメラの設定が出来ます。詳細→13 ページ</p>
逆光補正	<p>「逆光補正」では、極端な明暗差のある被写体を撮影する場合に適したカメラの設定が出来ます。この機能には「ハイライト補正」「バックライト補正」「WDR」の3つの動作モードがあり、どれか一つを選択することが出来ます。また、各モードにはメニューがあり動作の詳細を設定することが出来ます。</p> <p>オフ：逆光補正を適用しません。</p> <p>ハイライト補正：照明のような被写体の極端に明るい部分を黒く塗りつぶします。黒潰れが発生しやすい古いブラウン管式モニターを使用している場合等に適しています。詳細→16 ページ</p> <p>バックライト補正：被写体の適正な明るさで撮りたい部分を指定して露出を自動調整します。詳細→16 ページ</p> <p>W D R：同じ被写体を高速シャッターと低速シャッターで連続撮影し、両者の映像を合成する方法で明暗差の強い被写体のコントラスト差を圧縮します。広い明暗差に対応出来ますが、フレームレートが低下し動きのある映像では残像が発生します。詳細→19 ページ</p>
デイ&ナイト	<p>「デイ&ナイト」では、カラー撮影とモノクロ撮影を切り換えるための設定が出来ます。また、モノクロ撮影時にはIR（赤外線）撮影が出来ます。この設定には「オート」「カラー」「モノクロ」「外部」の4つのモードがあり、さらに「オート」「モノクロ」「外部」にはメニューがあり動作の詳細を設定することが出来ます。</p> <p>オート：カメラの撮像素子に入る光量を基にカラーとモノクロを自動的に切り換えるモードです。光量センサーを持たない機種（ICD-AH602V）で自動切り替えをおこなう場合はこのモードを選択します。光量センサーを持たない機種の初期設定値になります。詳細→22 ページ</p> <p>カラー：被写体や周囲の明るさに関係なくカラーで撮影するモードです。</p> <p>モノクロ：被写体や周囲の明るさに関係なくモノクロで撮影するモードです。詳細→23 ページ</p> <p>外部：撮像素子とは別の光量センサーで感知した周囲の明るさを基にカラーとモノクロを切り換えます。光量センサーを持っている機種（ICD-AH602VIR, ICI-AH603T, ICVD-AH604V）で自動切り替えをおこなう場合はこのモードを選択します。光量センサーを持っている機種の初期値になります。詳細→24 ページ</p>

カラー	「カラー」メニューに入ります。このメニューではホワイトバランス（白バランス）補正に関する設定が出来ます。 詳細 →25 ページ
デジタルノイズ除去	暗い被写体を撮影した場合に、映像がザラザラして見える現象を軽減することが出来ます。効果の強さを「オフ」「低」「 中 」「高」から選択出来ます。効果を強くすると、ノイズは少なくなりますが、アスファルトのようなザラザラした被写体の再現性が悪くなったり、動きのある映像に残像が発生したりしますので、不快に感じない程度に適切に設定してください。
イメージ	撮影された映像の画質等を微調整するためのメニューに入ることが出来ます。 詳細 →27 ページ
モーション	被写体の動きを検出して囲み線と文字を表示して知らせる機能です。 オフ ：モーション検出機能を使用しません。 オン ：モーション検出機能を使用します。この機能には詳細を設定するメニューがあります。 詳細 →32 ページ
システム	システムに関する詳細を設定するためのメニューに入ることが出来ます。 詳細 →32 ページ
終了	変更を保存してメニューを終了、または保存しないで終了します。

4.1.1. 2 MOTOR (ICI-AH603T のみ)

「2 MOTOR」メニューでは、オートフォーカスとズームに関する設定が出来ます。

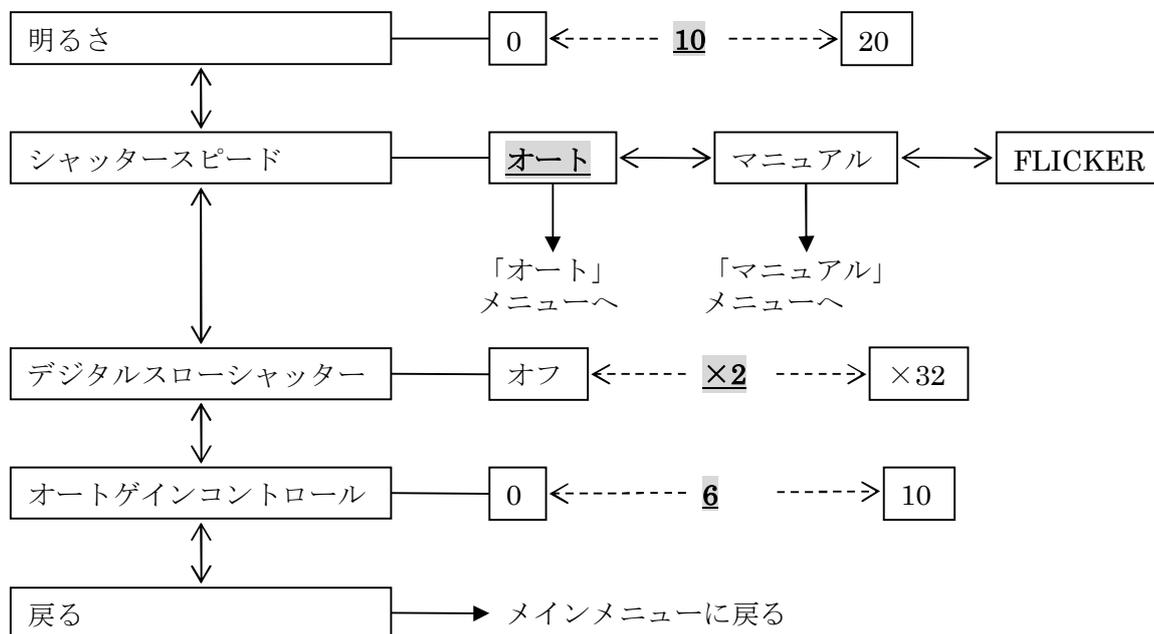


項目	説明
AF MODE	<p>フォーカス（「ピント」あるいは「焦点」）の動作モードを選択します。</p> <p>オート：ズーム操作の後、自動的にフォーカスを合わせます。手動で合わせる事は出来ません。</p> <p>マニュアル：ズーム操作の後、自動的にフォーカスを合わせません。ズーム操作の後には手動でフォーカスを合わせる必要があります。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>< 情報 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「マニュアル」モードの場合でも、カメラを起動した時にはオートフォーカスが動作します。 </div>

SCANNING	オートフォーカスの調整範囲を選択します。 HALF ：数十センチ以上の一般的な撮影距離の範囲に被写体がある場合、素早くフォーカスを合わせることが出来ますが、極端に近距離にある被写体にフォーカスを合わせることが出来ません。 FULL ：極めて至近距離の被写体まで撮影することが可能ですが、フォーカス調整に時間がかかります。
ONEPUSHAF	絞り開 ボタンでフォーカス調整を即時に実行します。
SYNC TDN	デイ&ナイト自動切り換え時にフォーカス調整を実行するかどうかを選択します。 オン：デイ&ナイト自動切り替え動作時にフォーカス調整を実行します。 オフ ：デイ&ナイト自動切り替え動作時にフォーカス調整を実行しません。
戻る	メインメニューに戻ります。

4.1.2. 露光

「露光」メニューでは、被写体の明るさに適したカメラの設定が出来ます。



項目	説明
明るさ	撮影する映像の明るさを露出補正によって 0 ～ 20 の範囲で調整します。初期値は 10 です。
シャッタースピード	電子シャッターのシャッタースピード調整の動作モードを切り換えます。 オート ：シャッタースピードを自動調整します。 詳細 → 14 ページ マニュアル ：一定のシャッタースピードを選択出来ます。 詳細 → 15 ページ FLICKER ：電源周波数 50Hz の地域で照明の点滅周期に伴う映像のちらつきを軽減するようにシャッタースピードを固定します。

デジタルスローシャッター	<p>被写体が暗い場合に、自動的にシャッタースピードを撮影フレームレートよりもより遅く制御することで、暗い被写体でも、より明るく撮影する機能です。</p> <p>オフ：デジタルスローシャッター機能は動作しません。</p> <p>X2～X32：選択した倍率のフレーム数に相当する時間を上限に、デジタルスローシャッター機能が動作します。</p> <div style="border: 1px solid black; background-color: #ffffcc; padding: 5px; text-align: center;"> <p>< 注 意 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 映像信号のフレームレート（垂直周波数）は変化しませんが、映像が更新される間隔が長くなるので、実質的な映像のフレームレートは下がります。 </div>
オートゲインコントロール	<p>被写体が暗い場合に、撮像素子からの映像信号の振幅は小さくなります。そのような場合に、映像増幅器（ビデオアンプ）の利得（増幅度）を上げることで、明るい映像にする機能がオートゲインコントロールです。この設定では、その利得の上限値を0～6～10の範囲で調整出来ます。</p> <div style="border: 1px solid black; background-color: #ffffcc; padding: 5px; text-align: center;"> <p>< 注 意 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「デイ&ナイト」を「オート」の設定でご使用になる場合、この値を“0”にすると、ナイトモードに切り替わらなくなります。“1”以上に設定してご使用ください。 ● オートゲインコントロールは、映像信号とともにノイズも増幅します。結果として、この設定値が大きい場合、暗い被写体の映像がざらついて見える場合があります。 </div>
戻る	メインメニューに戻ります。

4.1.2.1. オート（露光→シャッタースピード）

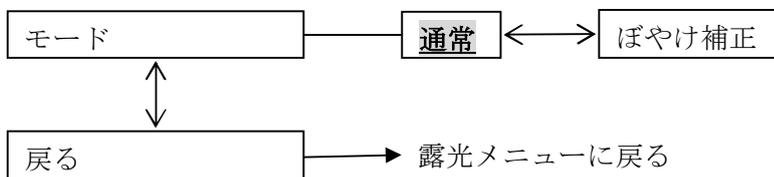
「オート」メニューでは、シャッタースピードを「オート」に設定した場合の電子シャッターの制御に関する設定が出来ます。このメニューは、メインメニューの「アイリス」を「自動光量調整」に設定した場合と「電子光量調整」に設定した場合ではメニューが異なります。

「アイリス」を「自動光量調整」に設定した場合



項目	説明
モード	<p>シャッタースピード制御の動作モードを選択出来ます。</p> <p>INDOOR：屋内使用に適した露出制御をします。</p> <p>OUTDOOR：屋外使用に適した露出制御をします。</p> <p>ぼやけ補正：動きのある被写体の映像が流れるのを抑制するために、適正露出が得られる範囲で、シャッタースピードを速くするように制御します。</p> <div style="border: 1px solid black; background-color: #ffffcc; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center;">< 注 意 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「ぼやけ補正」では、比較的明るい環境でも AGC の利得を高め制御しますので、ノイズの多い、ざらついた映像になります。 ● この機能にはフォーカスの合っていない状態のぼやけ（いわゆる「ピンボケ」）を改善する効果はありません。 </div>
戻る	「露光」メニューに戻ります。

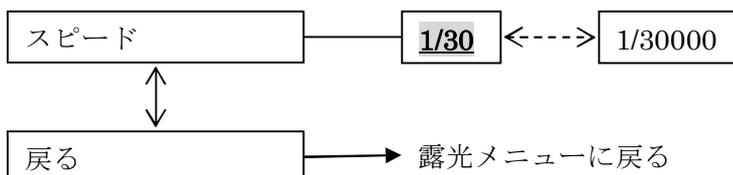
「アイリス」を「電子光量調整」に設定した場合



項目	説明
モード	<p>シャッタースピード制御の動作モードを選択出来ます。</p> <p>通常：一般的な使用に適したシャッタースピード制御をします。</p> <p>ぼやけ補正：動きのある被写体の映像が流れるのを抑制するために、適正露出が得られる範囲で、シャッタースピードを速くするように制御します。</p> <div style="border: 1px solid black; background-color: #ffffcc; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center;">< 注 意 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「ぼやけ補正」では、比較的明るい環境でも AGC の利得を高め制御しますので、ノイズの多い、ざらついた映像になります。 ● この機能にはフォーカスの合っていない状態のぼやけ（いわゆる「ピンボケ」）を改善する効果はありません。 </div>
戻る	「露光」メニューに戻ります。

4.1.2.2. マニュアル（露光→シャッタースピード）

「マニュアル」メニューでは、シャッタースピードを「マニュアル」に設定した場合の電子シャッターの制御に関する設定が出来ます。



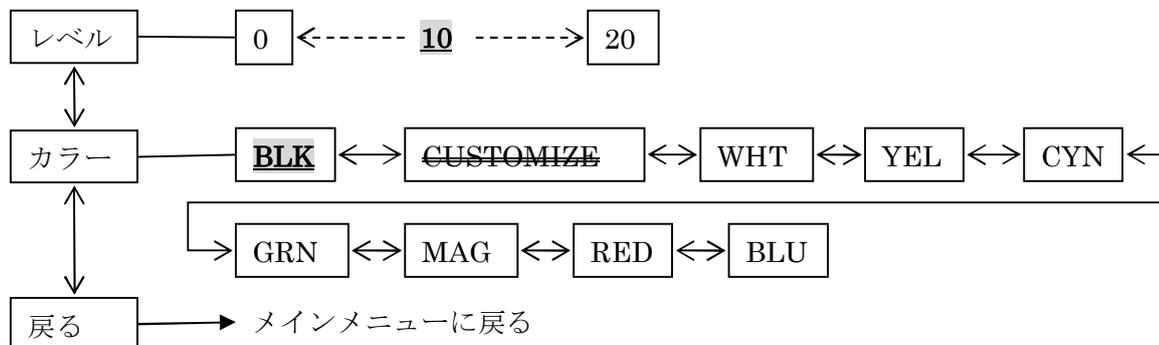
項目	説明
スピード	<p>電子シャッターのシャッタースピードを次の選択肢から選択出来ます。</p> <p>1/30, 1/60, 1/120, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/2000, 1/4000, 1/8000, 1/15000, 1/30000 [秒]</p>
戻る	「露光」メニューに戻ります。

4.1.3. 逆光補正

逆光補正機能は、明暗差の大きな被写体を撮影した場合に、意図した露出や映像効果を得ることが出来るようにします。

4.1.3.1. ハイライト補正（逆光補正）

「ハイライト補正」は、被写体の極端に明るい部分を、映像では黒く（または別の色）塗りつぶすことによって、暗い部分の映像を見易くすることが出来ます。



項目	説明																								
レベル	塗りつぶす明るさの閾値を 0 ～ 20 の範囲で指定出来ます。指定された閾値より明るい部分が、塗りつぶしの対象になります。初期値は 10 です。 <div style="border: 1px solid black; background-color: #ffffcc; padding: 5px; text-align: center;"> <p>< 注 意 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ● この場合の「明るさ」とは、露出制御された後の映像信号におけるものであり、被写体の照度や照明の明るさを意味するものではありません。相対的な目安とお考えください。 </div>																								
カラー	塗りつぶしの色を指定出来ます。色名は 3 文字のアルファベットによる略語で示され、実際の色との関係は次の表のようになります。 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>略語</th> <th>色</th> <th>略語</th> <th>色</th> <th>略語</th> <th>色</th> <th>略語</th> <th>色</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>BLK</td> <td>黒</td> <td>YEL</td> <td>黄</td> <td>GRN</td> <td>緑</td> <td>RED</td> <td>赤</td> </tr> <tr> <td>WHT</td> <td>白</td> <td>CYN</td> <td>シアン</td> <td>MAG</td> <td>マゼンタ</td> <td>BLU</td> <td>青</td> </tr> </tbody> </table> <p>< 予定機能 > 「CUSTOMIZE」は現在開発中のため色調整は出来ません。</p>	略語	色	略語	色	略語	色	略語	色	BLK	黒	YEL	黄	GRN	緑	RED	赤	WHT	白	CYN	シアン	MAG	マゼンタ	BLU	青
略語	色	略語	色	略語	色	略語	色																		
BLK	黒	YEL	黄	GRN	緑	RED	赤																		
WHT	白	CYN	シアン	MAG	マゼンタ	BLU	青																		
戻る	メインメニューに戻ります。																								

4.1.3.2. バックライト補正（逆光補正）

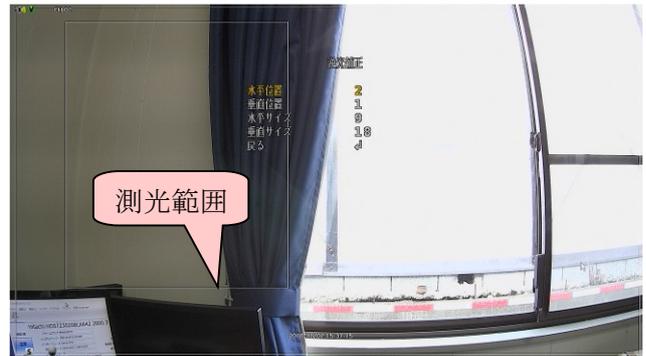
「バックライト補正」では、撮影範囲の比較的広い面積に極端に明るい部分や極端に暗い部分があることで、撮影したい部分の明るさが適正な明るさにならない場合に、撮影したい部分を測光範囲に指定することによって、露出を適切に制御することが出来ます。

次の図の少し極端な例ですが、撮影範囲の左半分が室内、右半分が窓の外の屋外を撮影しています。本来は室内を撮影したいと考えた場合でも、通常は室内がかなり暗めに映ります。

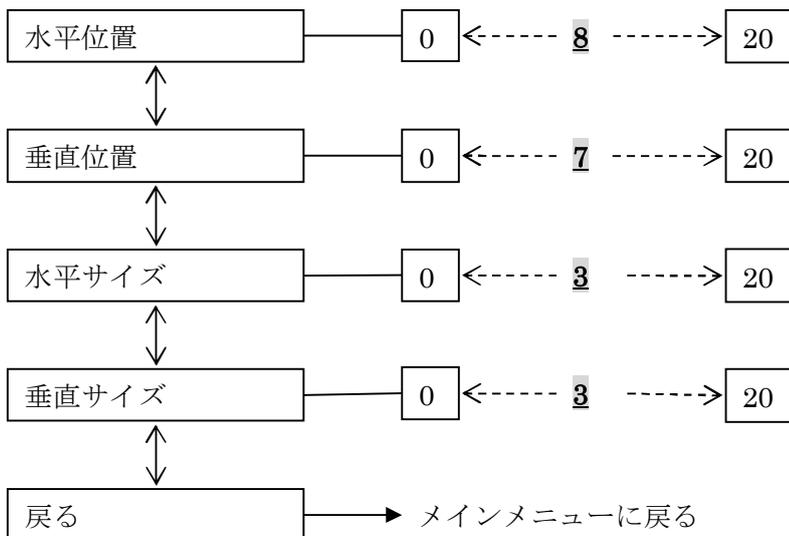
そのような場合に、撮影範囲の左側を測光範囲に指定すると、カメラは左側の明るさを基準に露出制御をします。



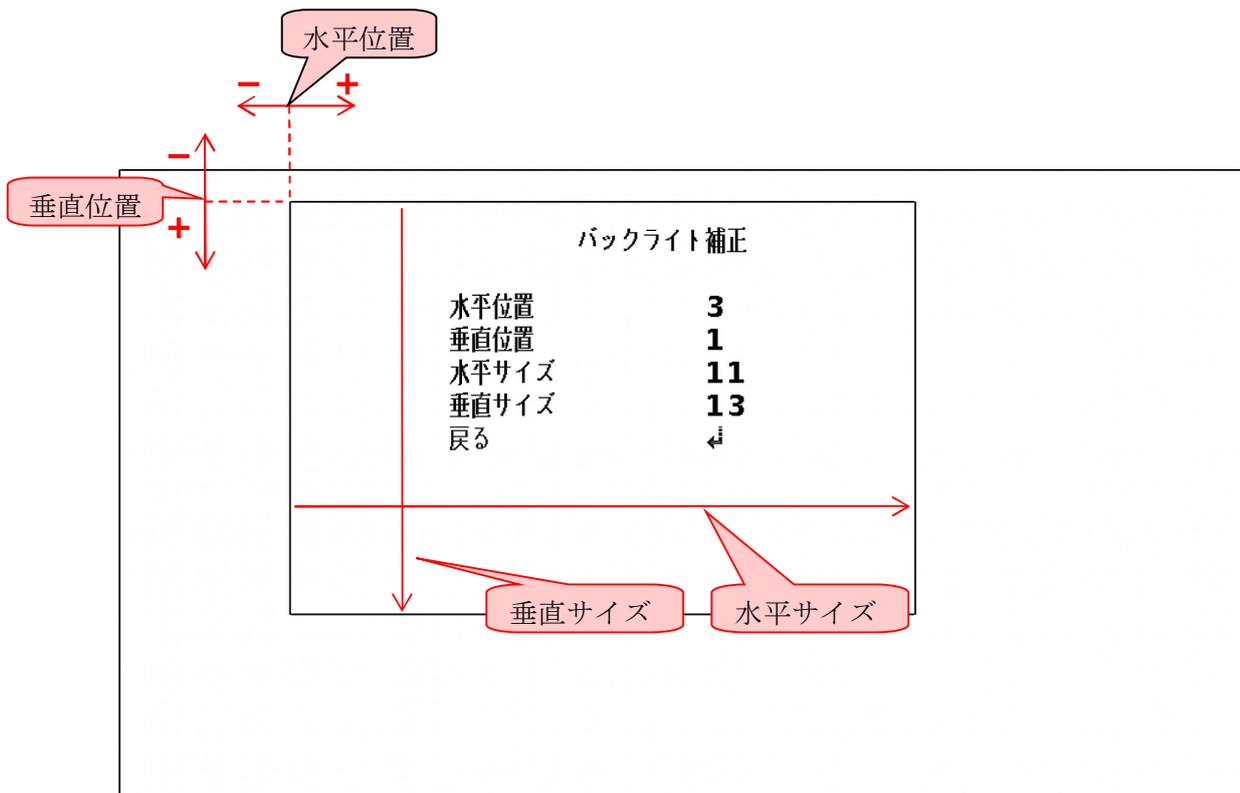
通常は、右側の明るい屋外の影響で、左側の室内は暗く撮影されてしまいます。



左の屋内側を測光範囲に指定すると、室内の明るさに合わせて露出を制御します。



項目	説明
水平位置	測光範囲の左端の位置を 0 ～ 20 の範囲で指定します。値が小さくなるほど左に移動し、値が大きくなるほど右に移動します。初期値は 8 です。
垂直位置	測光範囲の上端の位置を 0 ～ 20 の範囲で指定します。値が小さくなるほど上に移動し、値が大きくなるほど下に移動します。初期値は 7 です。
水平サイズ	測光範囲の横の幅を 0 ～ 20 の範囲で指定します。値を小さくするほど測光範囲の右端が左に移動し、値が大きくなるほど測光範囲の右端が右に移動します。初期値は 3 です。
垂直サイズ	測光範囲の縦の幅を 0 ～ 20 の範囲で指定します。値を小さくするほど測光範囲の下端が上に移動し、値が大きくなるほど測光範囲の下端が下に移動します。初期値は 3 です。
戻る	「逆光補正」のメニューに戻ります。



< 注 意 >

- レンズに強い光が入射すると、たとえバックライト補正をしたとしても、レンズやフロントガラスの汚れや傷、その他のレンズ内の反射等によって映像が見辛くなる場合があります。可能な限りカメラの設置場所や画角調整によって理想的な撮影条件を確保するようにし、バックライト補正は補助的な手段とお考えください。

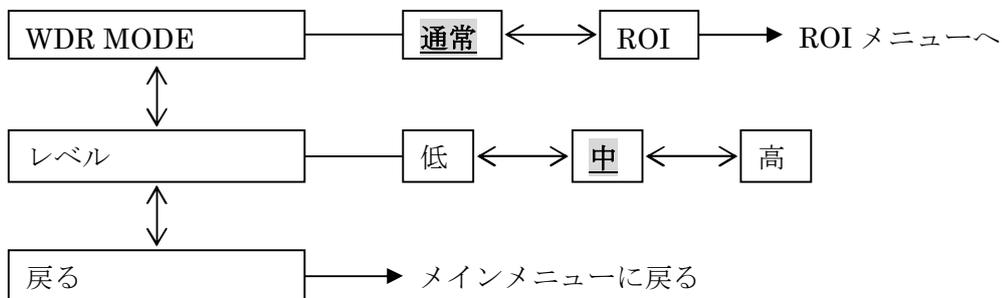
4.1.3.3. WDR（逆光補正）

＜ 注 意 ＞

WDR 機能は、異なるシャッタースピードで 2 回撮影して、その映像を合成することによって明暗差の強い被写体を撮影する機能です。従って、その原理上、次のような現象を伴います。

- フルフレームでの撮影は出来ない
1 枚の映像をつくるために、2 回の露光をおこなうため、例えば OUTPUT メニューでフレームレートとして“30”が選択されている場合でも、画像の更新は 15 分の 1 秒毎になります。
- 動きのある映像に残像が見られる
1 枚の映像をつくるための 2 回の露光には、僅かな時間差があります。従って動きのある映像の場合は残像が発生します。
- 映像に横縞等が見える場合がある
1 枚の映像をつくるための 2 回の露光には、それぞれ異なるシャッタースピードが動的に適用されます。照明の種類によっては照明の点滅速度とカメラのシャッタースピードの干渉によって映像に横縞が見える等の現象が現れる場合があります。
- 露光メニューのシャッタースピードは適用されない
WDR 機能によるシャッタースピードの制御は、露光メニューで設定されたシャッタースピードより優先的に機能します。従って露光メニュー内のシャッタースピード関連のパラメータは無視されます。

「WDR」は、被写体に明るい部分と暗い部分が混在する場合に、同じ映像を異なるシャッタースピードで 2 回撮影して、その映像を合成することによって明るい部分から暗い部分までの映像を再現することが出来ます。



項目	説明
WDR MODE	映像の合成方法を選択します。初期値は 通常 です。 通常 : 撮影された被写体の明るさの分布に合わせて、カメラが自動的に異なるシャッタースピードの映像を合成します。 ROI : 逆光部分が長方形の場合、長方形の範囲を指定して、その範囲にだけ高速シャッターを適用出来ます。BOX の座標の設定については、「BOX」メニューを参照してください。 詳細→20 ページ
レベル	WDR の効果の強さを「低」「中」「高」から選択出来ます。
戻る	メインメニューに戻ります。



WDR オフ



WDR オン
通常



WDR オン
ROI



WDR オフ



WDR オン
レベル 低



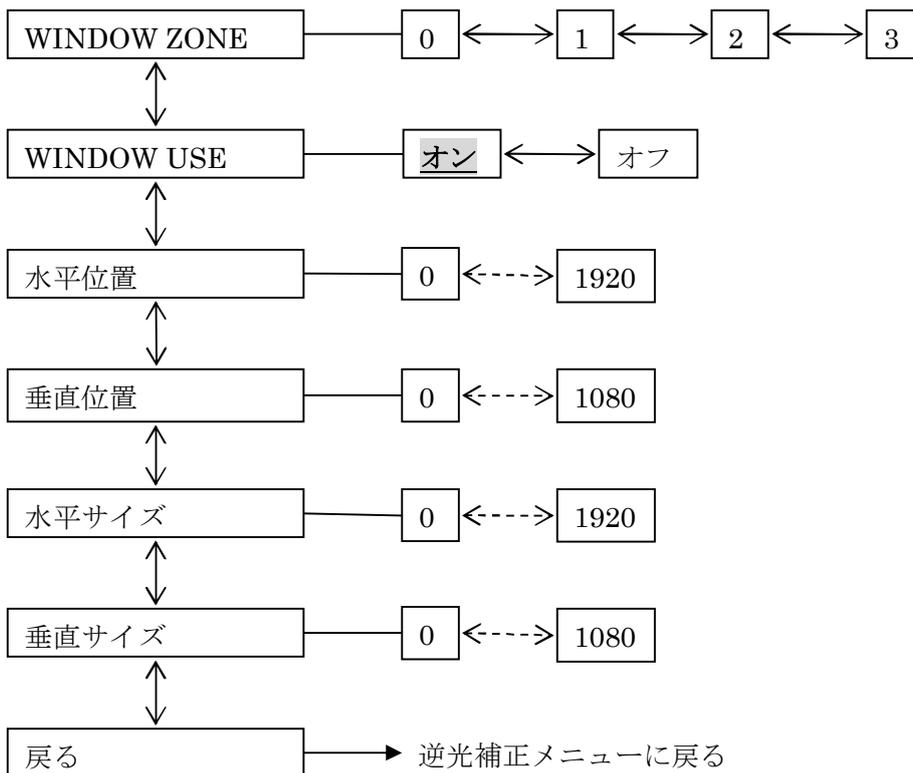
WDR オン
レベル 中



WDR オン
レベル 高

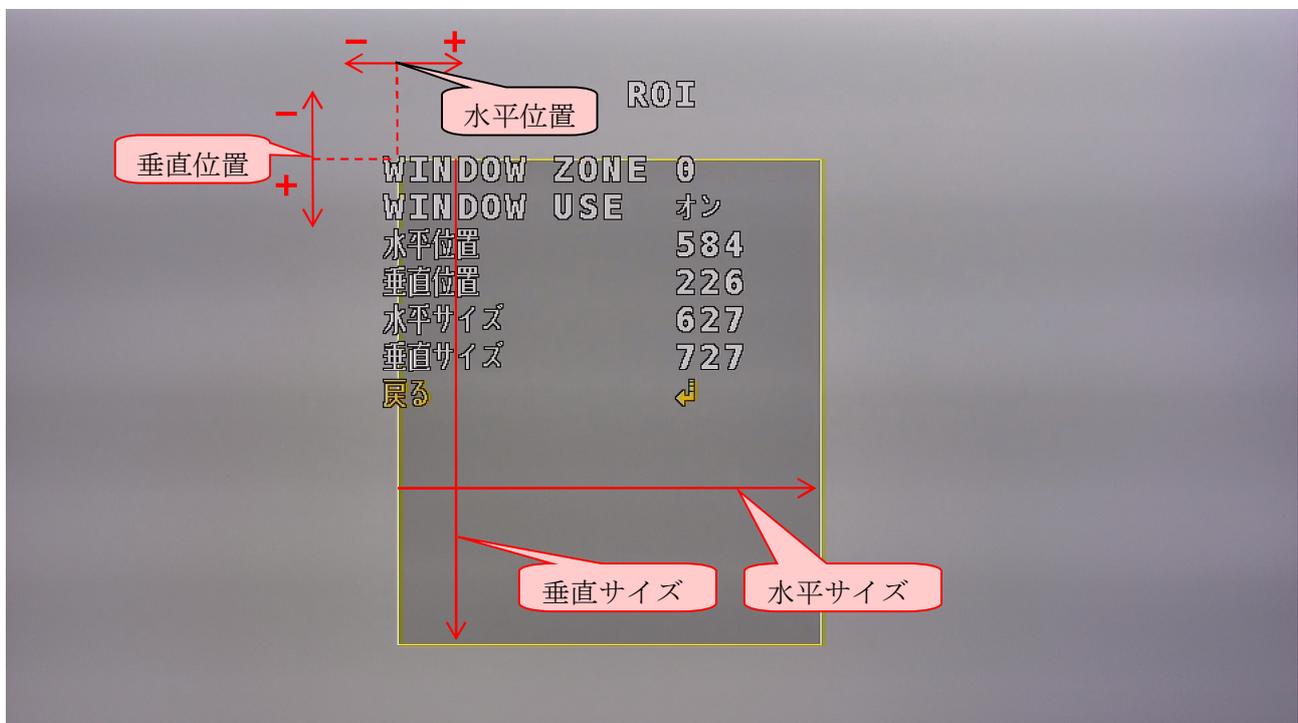
4.1.3.3.1. ROI (逆光補正→WDR)

逆光部分が長方形の場合、ここで長方形の範囲を指定します。



項目	説明
WINDOW ZONE	逆光範囲を指定するゾーンは最大 4 箇所まで指定することができます。 「WINDOW USE」以降の項目を設定しようとするゾーンの番号を 0～3 の番号で選択します。

WINDOW USE	<p>選択したゾーン番号を使用するか使用しないかを選択します。</p> <p>オフ：「WINDOW ZONE」で選択したゾーン番号を使用しません。また、水平と垂直の位置とサイズも変更できなくなります。</p> <p>オン：「WINDOW ZONE」で選択したゾーン番号を使用します。水平と垂直の位置とサイズは変更出来るようになり、画面には設定値を適用した映像が表示されます。</p>
水平位置	逆光範囲の左端の位置を 0 ～ 1920 の範囲で指定します。値が小さくなるほど左に移動し、値が大きくなるほど右に移動します。
垂直位置	逆光範囲の上端の位置を 0 ～ 1080 の範囲で指定します。値が小さくなるほど上に移動し、値が大きくなるほど下に移動します。
水平サイズ	逆光範囲の横の幅を 0 ～ 1920 の範囲で指定します。値を小さくするほど範囲の右端が左に移動し、値が大きくなるほど範囲の右端が右に移動します。
垂直サイズ	逆光範囲の縦の幅を 0 ～ 1080 の範囲で指定します。値を小さくするほど範囲の下端が上に移動し、値が大きくなるほど範囲の下端が下に移動します。
戻る	「WDR」（逆光補正）のメニューに戻ります。



各 WINDOW ZONE における水平と垂直の位置とサイズの初期値は次の表に示します。

	0	1	2	3
水平位置	320	520	720	920
垂直位置	180	330	480	630
水平サイズ	512			
垂直サイズ	432			

4.1.4. デイ&ナイト

「デイ&ナイト」では、カラー撮影とモノクロ撮影を切り換えるための設定が出来ます。

< 注 意 >

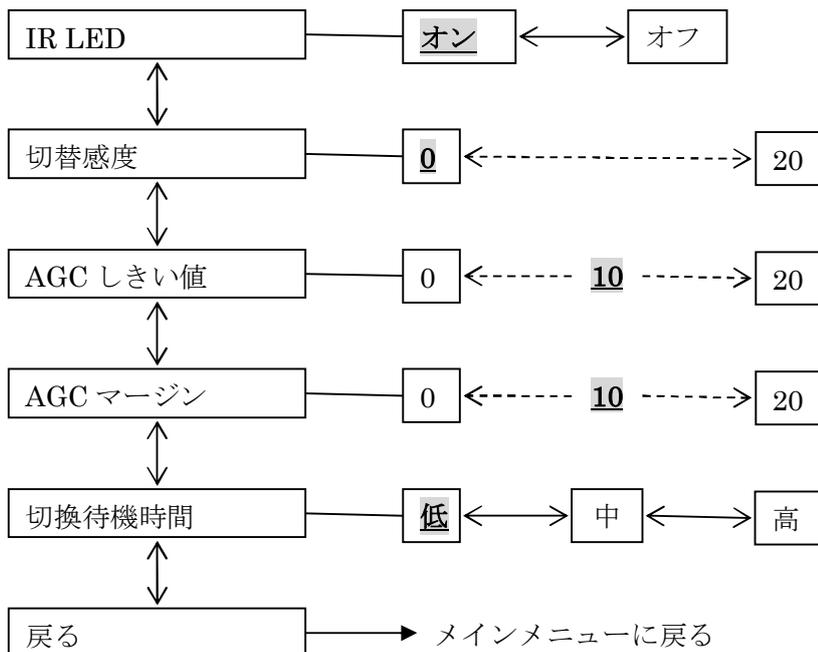
- 本機は True Day Night 機能を搭載しておりますので、鮮やかなカラー撮影を実現するために、デイモード動作中は赤外線に対する感度が低く抑えられています。デイモード時の IR 撮影には適していません。

4.1.4.1. オート (デイ&ナイト)

デイ&ナイトのオートモードは、カメラの撮像素子に入る光量を基にカラーとモノクロを自動的に切り換えるモードです。光量センサーを持たない機種 (ICD-AH602V) で自動切り替えをおこなう場合はこのモードを選択します。

< 注 意 >

- ICD-AH602V は弊社出荷時には「オート」で出荷しておりますが、カメラをリセットすると「カラー」になります。
- デイ&ナイトをオートモードで使用する場合、必ず「露光」メニューの「オートゲインコントロール」を“1”以上の出来るだけ大きな値に設定してください。低い値に設定すると、自動切り替えが効きにくくなり、“0”にすると効かなくなります。

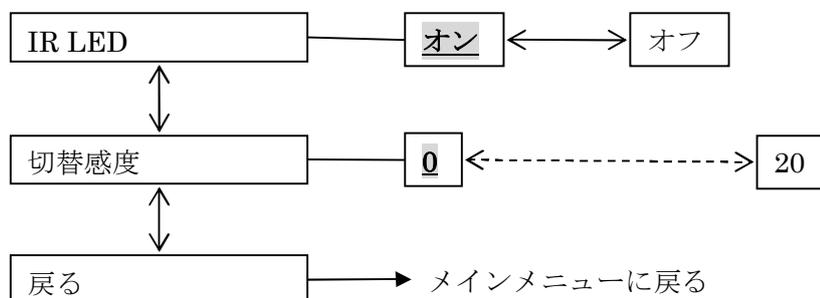


項目	説明
IR LED	IR 搭載モデル (ICD-AH602VIR, ICI-AH603AIR, ICVD-604V) でナイトモード時の IR 発光の オン とオフを切り替えます。初期値は オン です。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">< 注 意 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ● IR 搭載モデル (ICD-AH602VIR, ICI-AH603AIR, ICVD-AH604V) で「デイ & ナイト」を「オート」にして使用する場合、この設定はオフの状態をご利用ください。その場合、IR-LED は発光しません。 </div>

切替感度	<p>IR（赤外線）撮影時に IR ライトを使用することによって、映像に飽和（白飛び）が発生する場合に露出補正をして飽和を軽減します。 補正量は 0 ～ 20 の範囲で調整出来ます。0 が無補正で、値が大きくなるほど映像は暗くなります。初期値は 0 です。</p> <div style="border: 1px solid black; background-color: #ffffcc; padding: 5px; text-align: center;"> <p>< 注 意 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ● この機能は撮影する映像の露出を補正する機能です。可視光線で撮影した映像にも適用されます。 </div>
AGC しきい値	<p>デイモードとナイトモードを切り換えるしきい値を 0 ～ 20 の範囲で調整出来ます。しきい値の明るさは値が大きくなるほど暗くなります。初期値は 10 です。</p>
AGC マージン	<p>デイモードからナイトモードに切り替わる場合とナイトモードからデイモードに切り替わる場合のしきい値に差を持たせることができ、0 ～ 20 の範囲で調整出来ます。初期値は 10 です。 暗い環境でデイモードとナイトモードを繰り返すような現象が発生する場合には、この値を大きくすることで現象を緩和出来る場合があります。</p>
切替待機時間	<p>カメラが明るさの変化を感知してから実際にデイ&ナイト自動切り替えが動作するまでのおよその時間を「低」「中」「高」かり切り替えることが出来ます。初期値は 低 です。</p> <div style="border: 1px solid black; background-color: #add8e6; padding: 5px; text-align: center;"> <p>< 情 報 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 実際の時間は、同じ設定の場合でも、撮影条件によって異なりますので、秒数での規定はありません。 </div>
戻る	<p>メインメニューに戻ります。</p>

4.1.4.2. モノクロ（デイ&ナイト）

被写体や周囲の明るさに関係なくモノクロで撮影するモードです。



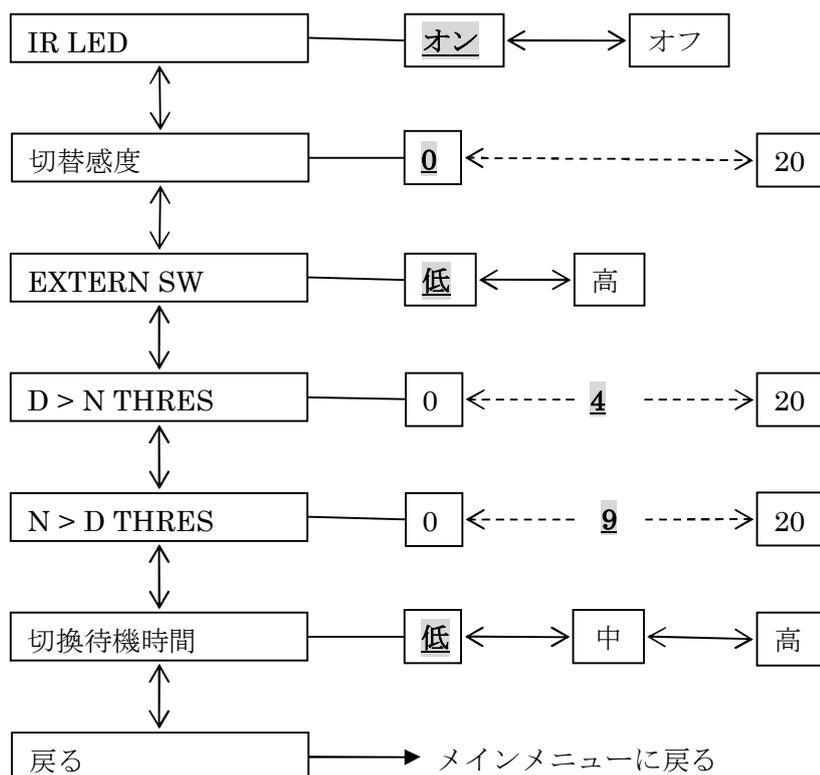
項目	説明
IR LED	<p>IR 搭載モデル（ICD-AH602VIR, ICI-AH603AIR, ICVD-604V）で IR 発光の オン と オフ を切り替えます。初期値は オン です。</p>
切替感度	<p>IR（赤外線）撮影時に IR ライトを使用することによって、映像に飽和（白飛び）が発生する場合に露出補正をして飽和を軽減します。 補正量は 0 ～ 20 の範囲で調整出来ます。0 が無補正で、値が大きくなるほど映像は暗くなります。初期値は 0 です。</p> <div style="border: 1px solid black; background-color: #ffffcc; padding: 5px; text-align: center;"> <p>< 注 意 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ● この機能は撮影する映像の露出を補正する機能です。可視光線で撮影した映像にも適用されます。 </div>
戻る	<p>メインメニューに戻ります。</p>

4.1.4.3. 外部 (デイ&ナイト)

撮像素子とは別の光量センサーで感知した周囲の明るさを基にカラーとモノクロを切り換えます。光量センサーを持っている機種 (ICD-AH602VIR, ICI-AH603AIR, ICVD-AH604V) で自動切り替えをおこなう場合はこのモードを選択します。

< 注 意 >

● 光量センサーを持たない機種 (ICD-AH602V) では、このモードではデイ&ナイト自動切り替えは効きません。

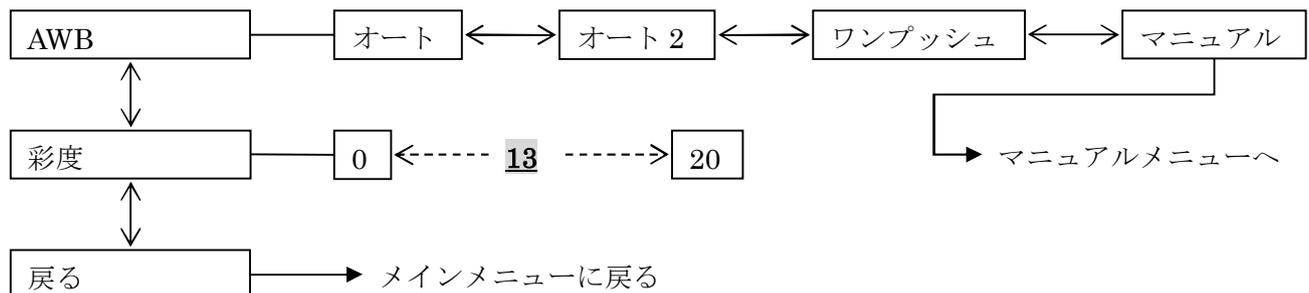


項目	説明
IR LED	IR 搭載モデル (ICD-AH602VIR, ICI-AH603AIR, ICVD-604V) でナイトモード時の IR 発光のオンとオフを切り替えます。初期値はオンです。
切替感度	IR (赤外線) 撮影時に IR ライトを使用することによって、映像に飽和 (白飛び) が発生する場合に露出補正をして飽和を軽減します。 補正量は 0 ~ 20 の範囲で調整出来ます。0 が無補正で、値が大きくなるほど映像は暗くなります。初期値は 0 です。
	<p style="background-color: #ffffcc; padding: 5px;">< 注 意 ></p> <p>● この機能は撮影する映像の露出を補正する機能です。可視光線で撮影した映像にも適用されます。</p>
EXTERN SW	周囲の明るさの変化に対するデイ&ナイト切り換えの極性を切り換えます。 低：周囲が明るい場合にカラー、暗い場合にモノクロに切り換わる動作をします。 高：周囲が明るい場合にモノクロ、暗い場合にカラーに切り換わる動作をします。
	<p style="background-color: #ffffcc; padding: 5px;">< 注 意 ></p> <p>● 必ず「低」でご使用ください。</p>

D > N THRES	設定を変更しないでください。初期値は 4 です。 <div style="text-align: center; border: 1px solid black; background-color: #ffffcc; padding: 5px;"> <p>< 注 意 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 設定を変更するとデイ&ナイト切り替え動作が不確実になります。 </div>
N > D THRES	設定を変更しないでください。初期値は 9 です。 <div style="text-align: center; border: 1px solid black; background-color: #ffffcc; padding: 5px;"> <p>< 注 意 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 設定を変更するとデイ&ナイト切り替え動作が不確実になります。 </div>
切換待機時間	カメラが明るさの変化を感知してから実際にデイ&ナイト自動切り替えが動作するまでのおおよその時間を「 低 」「中」「高」かり切り替えることができます。初期値は 低 です。 <div style="text-align: center; border: 1px solid black; background-color: #add8e6; padding: 5px;"> <p>< 情 報 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 実際の時間は、同じ設定の場合でも、撮影条件によって異なりますので、秒数での規定はありません。 </div>
戻る	メインメニューに戻ります。

4.1.5. カラー

ホワイトバランス（自動白バランス補正）では、照明の違いによる被写体の色の偏りを補正するための設定が出来ます。白い被写体を白く見せることがこの機能の目的なので、このような名称で呼ばれています。

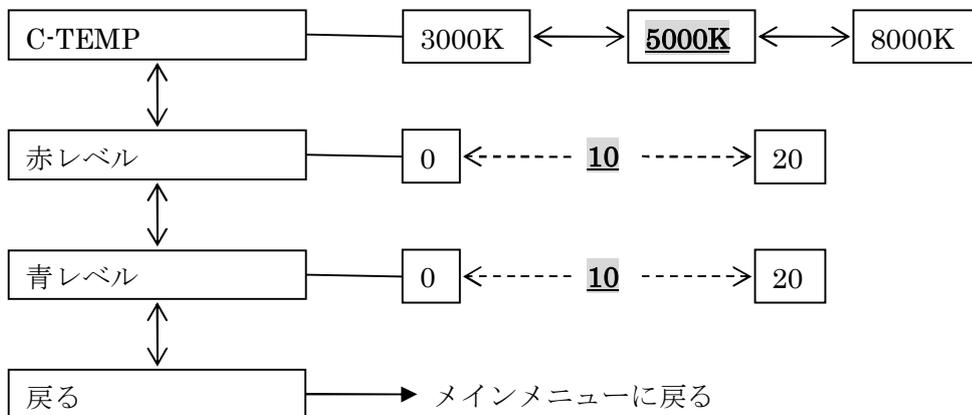


項目	説明
AWB	<p>AWB（自動ホワイトバランス補正）では、照明の違いによる被写体の色の偏りを補正するための設定が出来ます。白い被写体を白く見せることがこの機能の目的なので、このような名称で呼ばれています。</p> <p>この機能には「オート」「オート 2」「ワンプッシュ」「マニュアル」の4つの動作モードがあります。</p> <p>オート：撮影された被写体の状態を自動的に認識して自動調整します。通常はこのモードでご使用ください。</p> <p>オート 2：照明の種類等によっては「オート」で自然な色調が得られない場合があります。そのような場合に「オート 2」を試してください。</p> <p>ワンプッシュ：白い被写体を画面いっぱい大きく撮影した状態でカーソルを「ワンプッシュ」の位置に合わせ OSD ノブを押すと、その被写体が白く映るように自動調整します。このモードは、映像に大きく鮮やかな色の被写体が映り込むことによって自動調整が正しく機能しない場合に適しています。</p> <p>マニュアル：緑に対する青と赤の強さを手動設定することで色のバランスを調整します。正しく調整するためには、高い技量が必要ですので、特別な事情がある場合を除き、使用はお勧めしていません。</p> <p style="text-align: right;">詳細→26 ページ</p>

	<p>< 注 意 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「ワンプッシュ」と「マニュアル」は、屋外撮影のような時間帯や天候等によって撮影場所の色温度が変化する環境での使用には適しません。 ● 「ワンプッシュ」の自動調整を UTC による遠隔操作で実行する場合は、ワンプッシュが表示されている状態から 絞り開 ボタンで実行してください。PUSHING と表示されている場合には、一度 絞り開 ボタンを押して ワンプッシュに戻してから実行してください。
彩度	色の濃さを 0～20 の範囲で調整出来ます。(初期値： 13)
戻る	メインメニューに戻ります。

4.1.5.1. マニュアル (カラー→AWB)

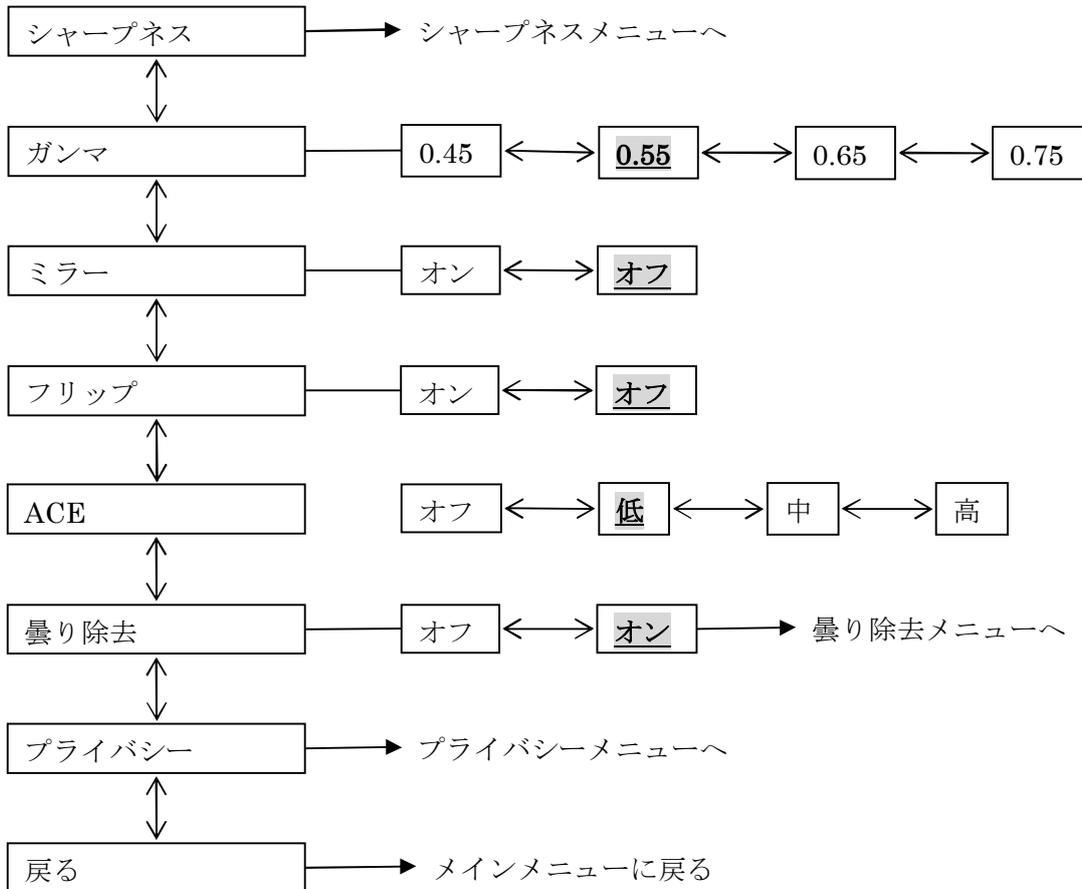
「マニュアル」(手動調整)では、白く映るようにする基準の色温度を「C-TEMP」で選択し、「赤レベル」と「青レベル」で微調整することによって、ホワイトバランスを手動で目的の色温度に合わせます。



項目	説明
C-TEMP	<p>色温度調整の中心となる色温度を大まかに切り換えます。</p> <p>3000K：照明が白熱電球や電球色蛍光灯（または LED）のような暖色系照明の場合に選択します。</p> <p>5000K：照明が昼白色蛍光灯（または LED）のような白色系照明の場合に選択します。</p> <p>8000K：照明が晴天時の日陰のような寒色系照明の場合に選択します。</p> <div style="text-align: center;"> <p>< 注 意 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 色温度の値は大まかな目安です、正確ではありません。 </div>
赤レベル	緑に対する赤の強さを 0～20 の範囲で微調整出来ます。初期値は 10 です。
青レベル	緑に対する青の強さを 0～20 の範囲で微調整出来ます。初期値は 10 です。
戻る	メインメニューに戻ります。

4.1.6. イメージ

「イメージ」メニューでは、撮影された映像の画質等を微調整することができます。

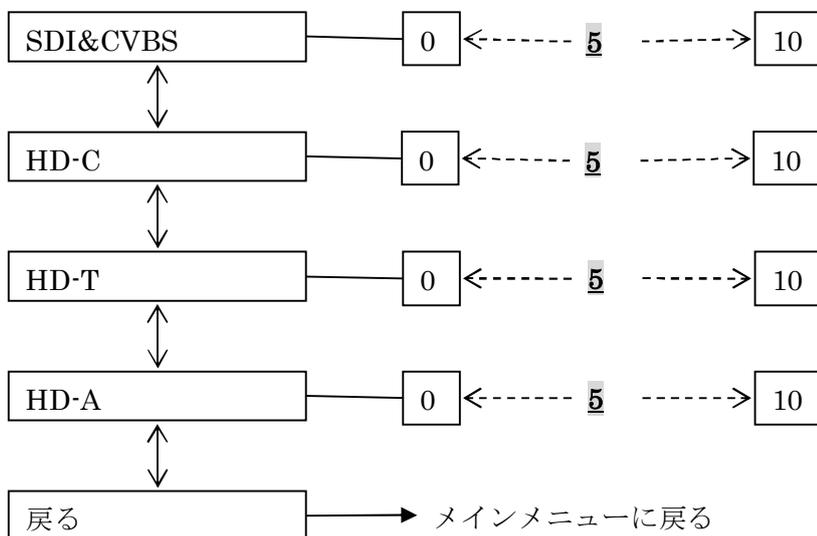


項目	説明
シャープネス	シャープネスは、輪郭を強調して映像をくっきり感じさせる機能です。 本機はシャープネスメニュー内でビデオフォーマット毎にシャープネス値を設定する事が出来ます。 詳細→28ページ
ガンマ	ガンマ補正値を「0.45」「0.55」「0.65」「0.75」から選択出来ます。 お使いのモニターに合わせて見易い設定でご使用ください。 <div style="border: 1px solid black; background-color: #ffffcc; padding: 5px; text-align: center;"> <p>< 注 意 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ● メインメニューの「デイ&ナイト」で「WDR」が選択されている場合には、この設定は効果がなくなります。 </div>
ミラー	映像を左右反転する機能です。 オフ ：映像を左右反転しません。 オン：映像を左右反転します。(鏡に反射したような映像になります)
フリップ	映像を上下反転する機能です。 オフ ：映像を上下反転しません。 オン：映像を上下反転します。
ACE	ACE(Active Contrast Enhancement)機能は、映像の明るさの範囲を圧縮することで、映像のより明るい部分やより暗い部分を見易くする機能です。 オフ ：ACE機能を使用しません。 低：ACEの弱めの効果で使用します。 中：ACEの中程度の効果で使用します。 高：ACEの強めの効果で使用します。

	見易い設定でご使用ください。 <div style="border: 1px solid black; background-color: #ffffcc; padding: 5px; text-align: center;"> <p>< 注 意 ></p> <p>● 曇り除去機能を使用している場合には、ACE 機能は動作しません。</p> </div>
曇り除去	ドームバブル等の汚れや傷によって霞んだ映像を補正して見易くする機能です。 オフ：曇り除去機能を使用しません。 オン ：曇り除去機能を使用します。この機能には詳細を設定するメニューがあります。 詳細 →28 ページ
プライバシー	映像の一部の範囲を特定の色でマスキングすることによってプライバシーを保護するための「プライバシー」メニューに入ります。 この機能には詳細を設定するメニューがあります。 詳細 →29 ページ
戻る	メインメニューに戻ります。

4.1.6.1. シャープネス

「シャープネス」機能は輪郭を強調して映像をくっきり感じさせます。本機では出力するビデオフォーマット毎に異なるシャープネス値を設定出来ます。



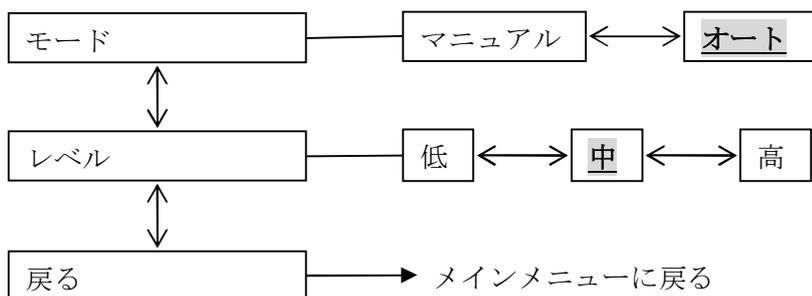
項目	説明
SDI&CVBS	SDI または CVBS 出力時のシャープネスを 0～10 の範囲で調整できます。初期値は 5 です。
HD-C	CVI 出力時のシャープネスを 0～10 の範囲で調整できます。初期値は 5 です。
HD-T	TVI 出力時のシャープネスを 0～10 の範囲で調整できます。初期値は 5 です。
HD-A	AHD 出力時のシャープネスを 0～10 の範囲で調整できます。初期値は 5 です。
戻る	メインメニューに戻ります。

< 注 意 >

- シャープネスは解像度を上げる機能ではありません。
- 現在出力しているビデオフォーマット以外のビデオフォーマットの項目は変更できません。

4.1.6.2. 曇り除去 (イメージ)

「曇り除去」は、霧などの影響で霞んで見える映像を補正して見易くします。

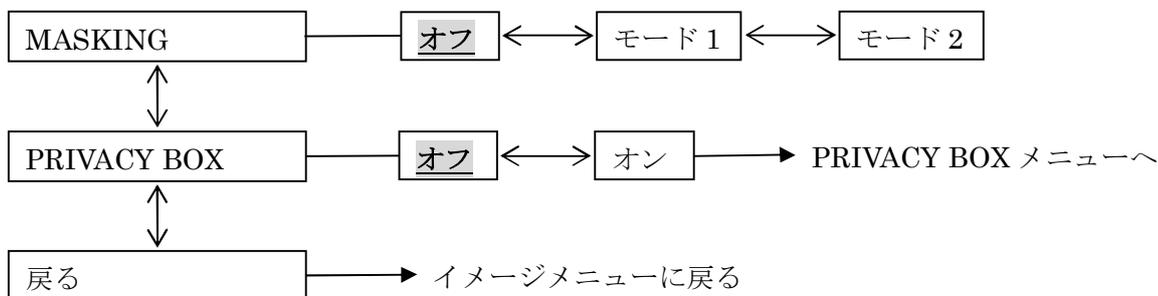


項目	説明
モード	曇り除去機能の動作モードを切り換えます。 マニュアル：マニュアルモードで動作します。 オート ：オートモードで動作します。
レベル	モードをマニュアルに設定した場合の曇り除去の強さを選択します。モードがオートになっている場合はレベルを変えても曇り除去の効果は変化しません。 低：効果を弱めにします。 中 ：効果を中程度にします。 高：効果を強めにします。
戻る	メインメニューに戻ります。

4.1.6.3. プライバシー (イメージ)

映像の一部の範囲を特定の色でマスキングすることによってプライバシーを保護します。

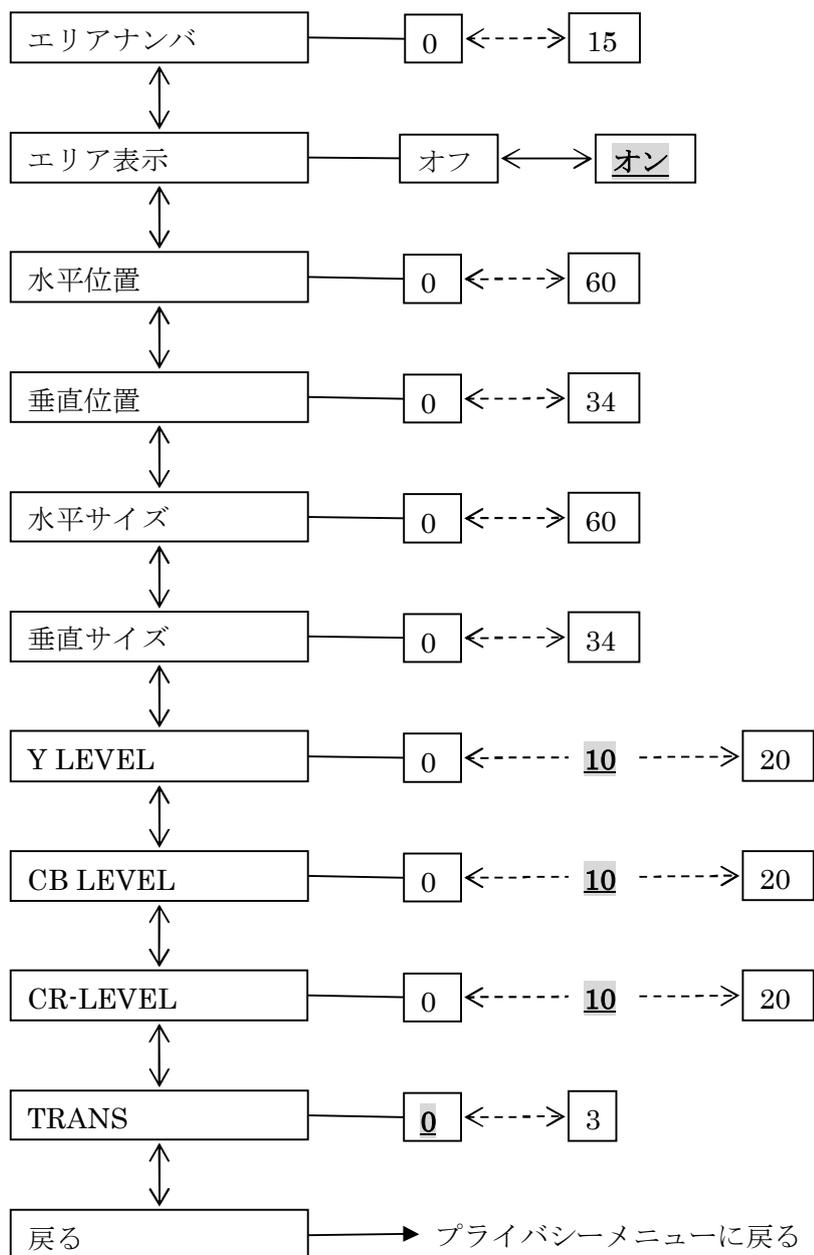
保護することが出来るエリアは、長方形で指定することが出来る範囲を 16 箇所、頂点の座標を指定した四角形で指定することが出来る範囲を 8 箇所、合計 24 箇所まで指定可能です。



項目	説明
MASKING	画面全体に対して映像の輪郭線だけを表示します。 オフ：通常のカラー映像を撮影します。 モード1：白い背景に輪郭線を黒で表示します。 モード2：黒い背景に輪郭線を白で表示します。
PRIVACY BOX	長方形で指定することが出来る範囲を利用するかどうかを選択します。 オフ ：長方形で指定することが出来る範囲を利用しません。 オン：長方形で指定することが出来る範囲を利用します。マスキングする範囲は「BOX」メニュー内で設定します。 詳細 →30ページ
戻る	イメージメニューに戻ります。

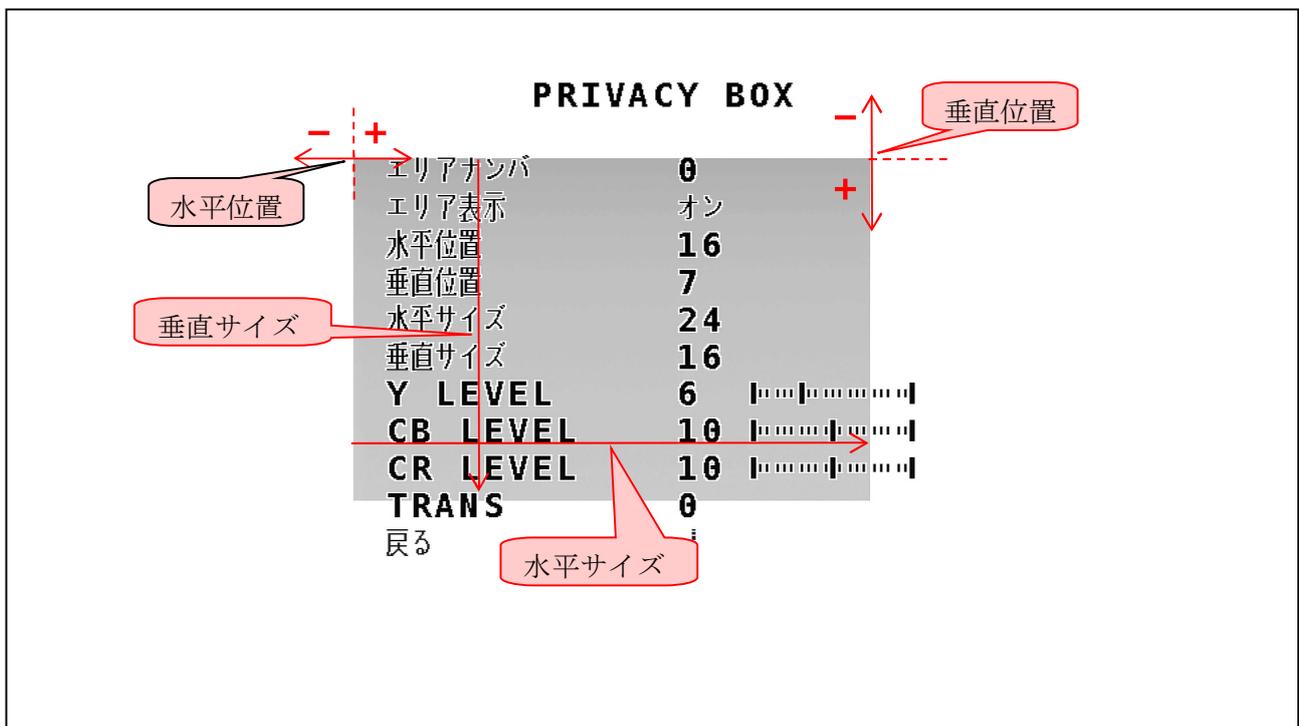
4.1.6.3.1. PRIVACY BOX (イメージ→プライバシー)

プライバシー保護エリアを長方形で指定します。



項目	説明
エリアナンバ	プライバシー保護を指定する長方形のエリアは最大 16 箇所まで指定することができます。 「エリア表示」「水平位置」「垂直位置」「水平サイズ」「垂直サイズ」の項目を設定しようとするエリアの番号を 0～15 の番号で選択します。
エリア表示	選択したエリア番号を使用するか使用しないかを選択します。 オフ：「エリアナンバ」で選択したエリア番号を使用しません。また、水平と垂直の位置とサイズも変更できなくなります。 オン ：「エリアナンバ」で選択したエリア番号を使用します。水平と垂直の位置とサイズは変更出来るようになり、画面には設定値を適用した映像が表示されます。
水平位置	保護エリアの右端の位置を 0～60 の範囲で指定します。値が小さくなるほど左に移動し、値が大きくなるほど右に移動します。

垂直位置	保護エリアの上端の位置を 0～34 の範囲で指定します。値が小さくなるほど上に移動し、値が大きくなるほど下に移動します。
水平サイズ	保護エリアの横の幅を 0～60 の範囲で指定します。値を小さくするほど保護範囲の右端が左に移動し、値が大きくなるほど保護範囲の右端が左に移動します。
垂直サイズ	保護エリアの縦の幅を 0～34 の範囲で指定します。値を小さくするほど保護範囲の下端が上に移動し、値が大きくなるほど保護範囲の下端が下に移動します。
Y LEVEL	保護エリアを塗り潰す明るさを 0～20 の範囲で指定します。数値が大きくなるほど明るくなります。この設定は、16 箇所全てのエリアに対して共通に適用されます。
CB LEVEL	保護エリアを塗り潰す色を構成する B-Y 軸の色差を 0～20 の範囲で指定します。ニュートラルな数値は 10 で、0～20 の範囲は数値が大きくなるほど青紫系になり、値が小さくなるほど黄緑系に変化します。この設定は、16 箇所全てのエリアに対して共通に適用されます。
CR LEVEL	保護エリアを塗り潰す色を構成する R-Y 軸の色差を 0～20 の範囲で指定します。ニュートラルな数値は 10 で、0～20 の範囲は数値が大きくなるほど赤色系になり、値が小さくなるほど青緑系に変化します。この設定は、16 箇所全てのエリアに対して共通に適用されます。
TRANS	保護エリアの透過度（透明度）を 0～3 の範囲で指定します。値が大きいほど保護エリアが透けて見えます。
戻る	「プライバシー」（イメージ）のメニューに戻ります。

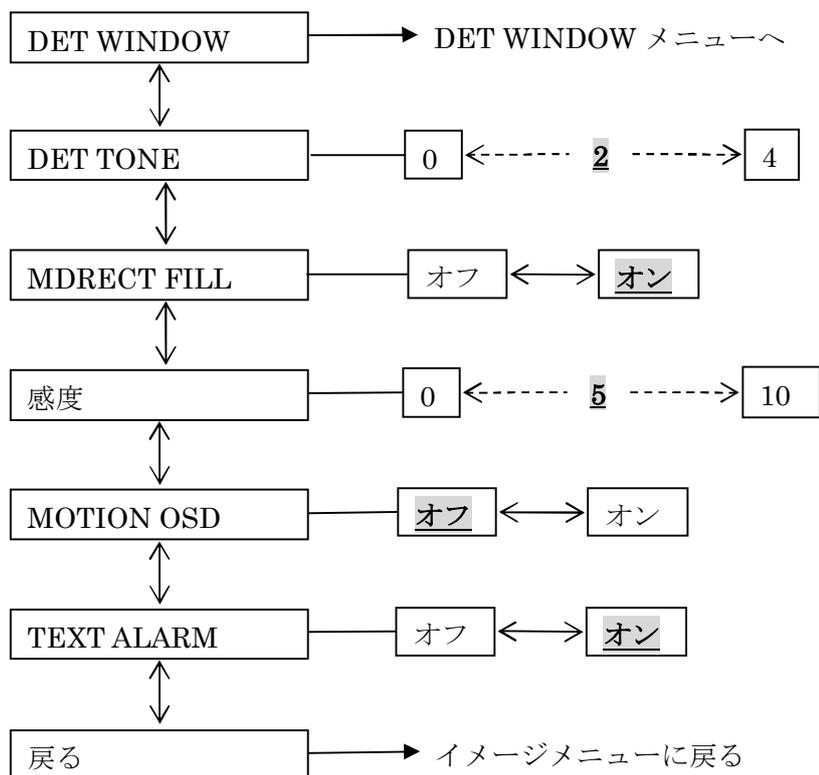


各エリアナンバの水平垂直の位置とサイズの初期値は次の表に示します。

エリアナンバ	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
水平位置	12	16	20	24	28	32	12	16	20	24	28	32	12	16	20	24
垂直位置	2						6						10			
水平サイズ	3															
垂直サイズ	3															

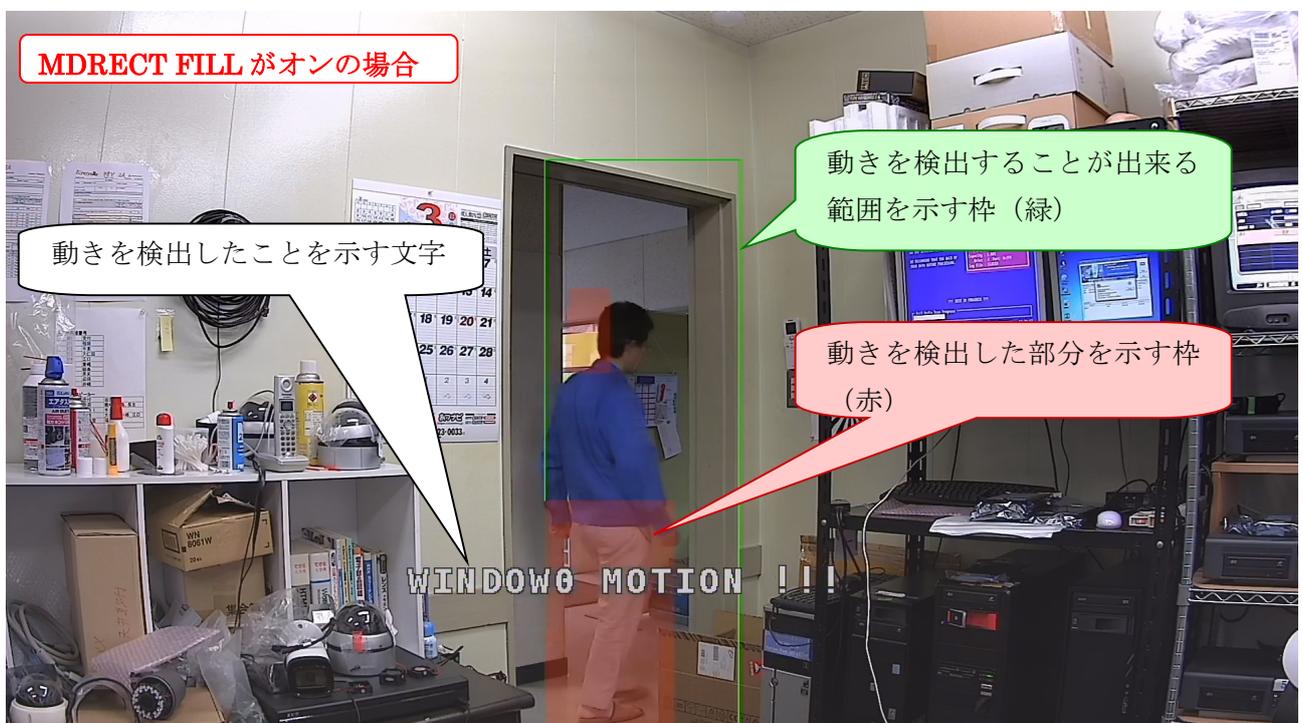
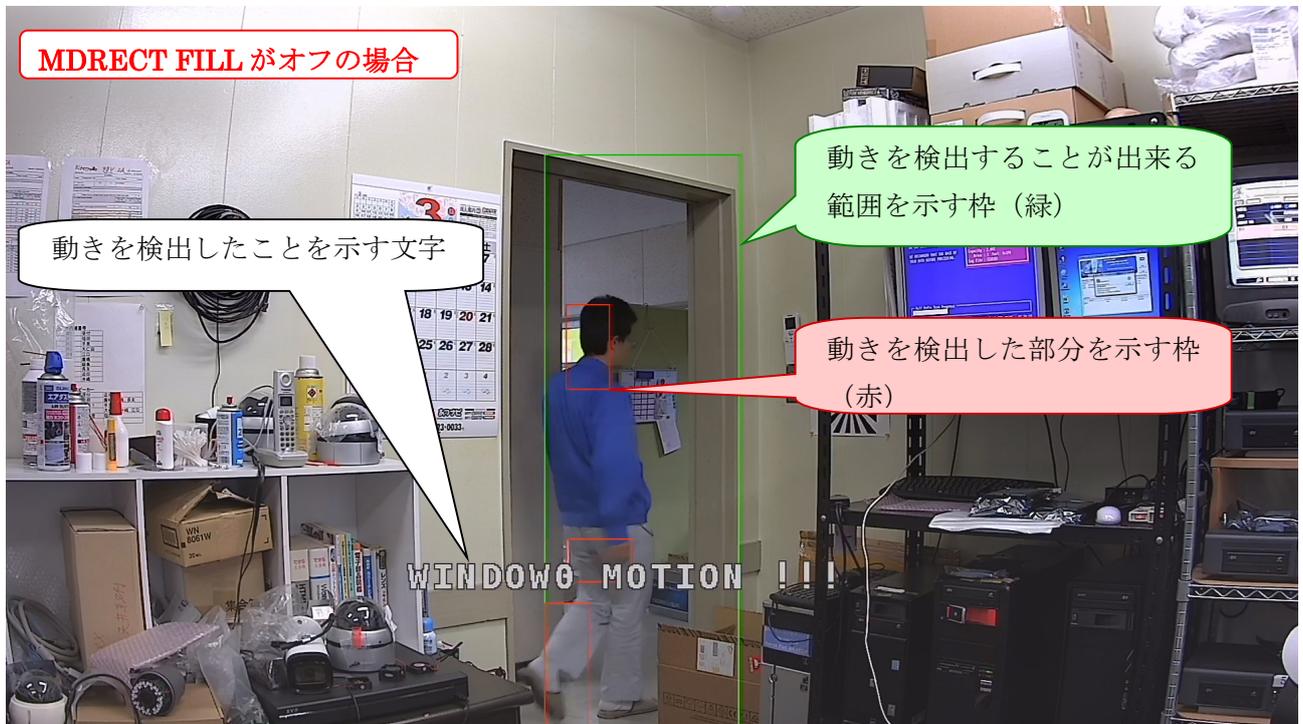
4.1.7. モーション

被写体の動きを検出して文字と枠線を表示して知らせます。

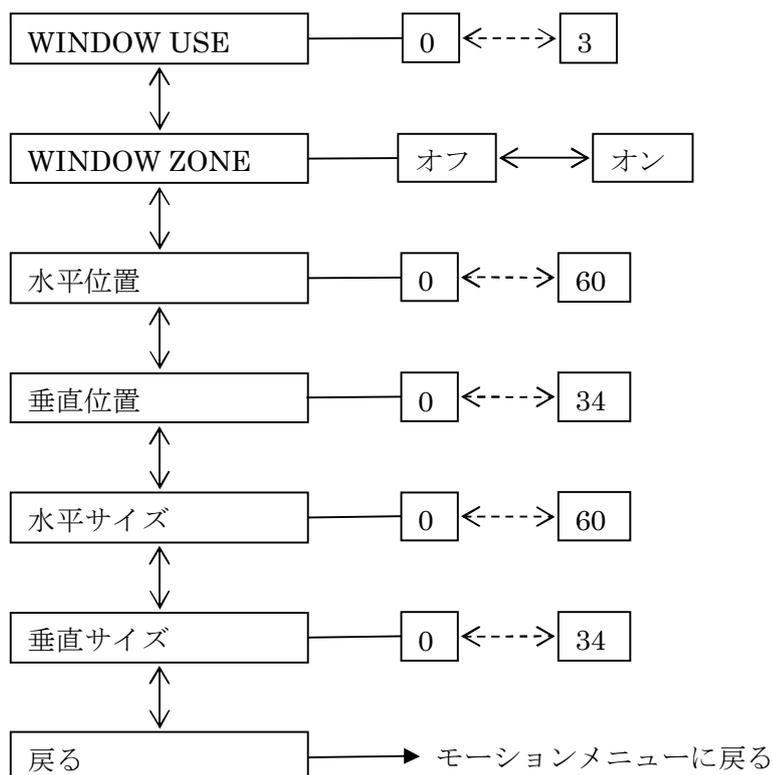


項目	説明
DET WINDOW	動きを検出することが出来る範囲を指定するためのメニューに入ります。この機能の詳細は「DET WINDOW」メニューで設定します。 詳細→34ページ
DET WINDOW	動きを検出することが出来る範囲の外側または境界の表示方法を選択します。 0：動きを検出することが出来る範囲の外側を不透明の白色で表示します。 1：動きを検出することが出来る範囲の外側を 50%透明の白色で表示します。 2：動きを検出することが出来る範囲の外側を 80%透明の白色で表示します。 3：動きを検出することが出来る範囲の外側をマスキングしません。 4：動きを検出することができる範囲とその外側の境界を緑色の線で表示します。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 100px; background-color: white;">0</div> <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 100px; background-color: white;">1</div> <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 100px; background-color: white;">2</div> <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 100px; background-color: white;">3</div> <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 100px; background-color: white;">4</div> </div>

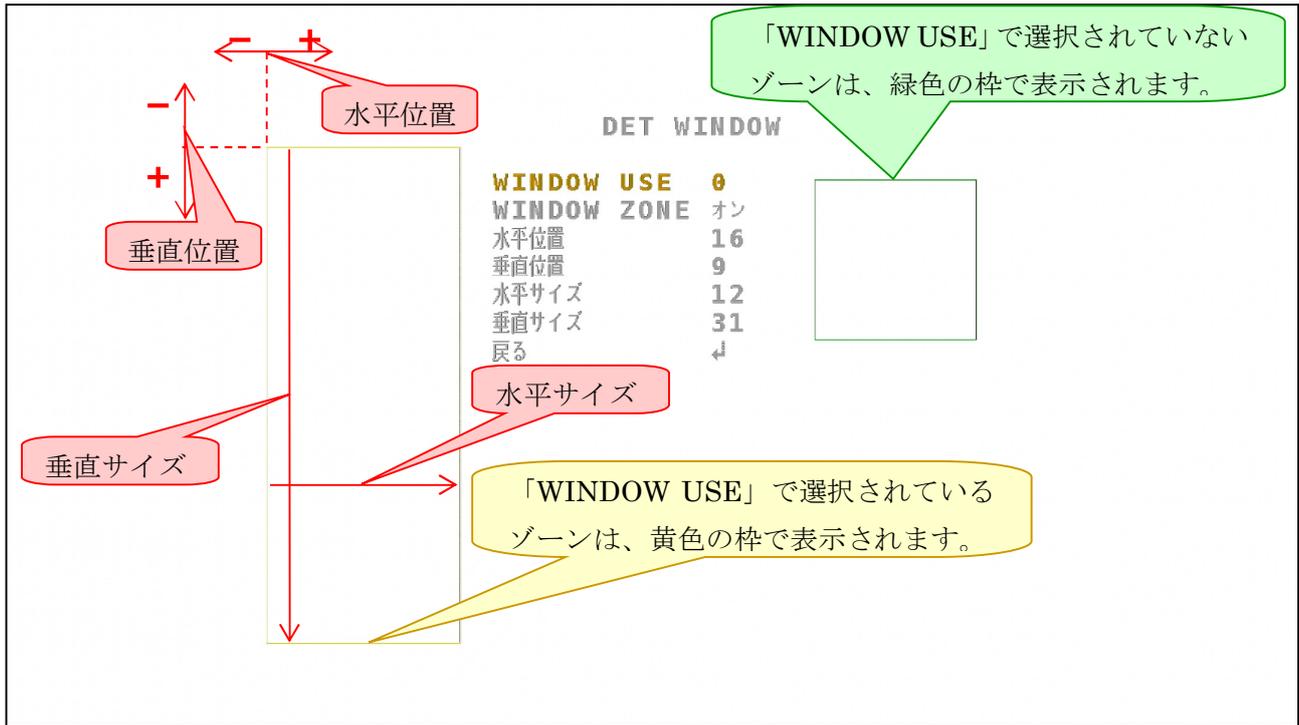
TEXT ALARM	<p>動きを検出した場合に、検出したことを文字で表示する機能のオンとオフを切り換えます。</p> <p>オフ：動きを検出したことを示す文字を表示しません。</p> <p>オン：動きを検出したことを示す文字を表示します。</p> <p>表示形式は「WINDOW#MOTION !!!」で“#”の部分には「DET WINDOW」メニューの「WINDOW USE」で指定された検出範囲を示す番号が入ります。</p>
戻る	イメージメニューに戻ります。



4.1.7.1. DET WINDOW (モーシヨン)



項目	説明										
WINDOW USE	モーシヨン検出を指定する長方形のエリアを最大 4 箇所まで指定することが出来ます。 「WINDOW ZONE」「水平位置」「垂直位置」「水平サイズ」「垂直サイズ」の項目を設定しようとするゾーンの番号を 0～3 の番号で選択します。										
WINDOW ZONE	選択したゾーン番号を使用するか使用しないかを選択します。 オフ：「WINDOW USE」で選択したゾーン番号を使用しません。また、水平と垂直の位置とサイズも変更できなくなります。 オン：「WINDOW USE」で選択したゾーン番号を使用します。水平と垂直の位置とサイズは変更出来るようになり、画面には設定値を示す黄色の枠が表示されます。 「WINDOW ZONE」がオンに設定されている「WINDOW USE」で選択されていないゾーンがある場合は緑色の枠で表示されます。 WINDOW ZONE の初期値は WINDOW USE の番号によって次の表のようになります。										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>WINDOW USE</th> <th>0</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>WINDOW ZONE 初期値</td> <td>オン</td> <td>オフ</td> <td>オフ</td> <td>オフ</td> </tr> </tbody> </table>	WINDOW USE	0	1	2	3	WINDOW ZONE 初期値	オン	オフ	オフ	オフ
WINDOW USE	0	1	2	3							
WINDOW ZONE 初期値	オン	オフ	オフ	オフ							
水平位置	選択したゾーン番号の左端の位置を 0～80 の範囲で指定します。値が小さくなるほど左に移動し、値が大きくなるほど右に移動します。										
垂直位置	選択したゾーン番号の上端の位置を 0～45 の範囲で指定します。値が小さくなるほど上に移動し、値が大きくなるほど下に移動します。										
水平サイズ	選択したゾーン番号の横の幅を 0～80 の範囲で指定します。値を小さくするほど保護範囲の右端が左に移動し、値が大きくなるほど検出範囲の右端が右に移動します。										
垂直サイズ	選択したゾーン番号の縦の幅を 0～45 の範囲で指定します。値を小さくするほど保護範囲の下端が上に移動し、値が大きくなるほど検出範囲の下端が下に移動します。										
戻る	モーシヨンメニューに戻ります。										

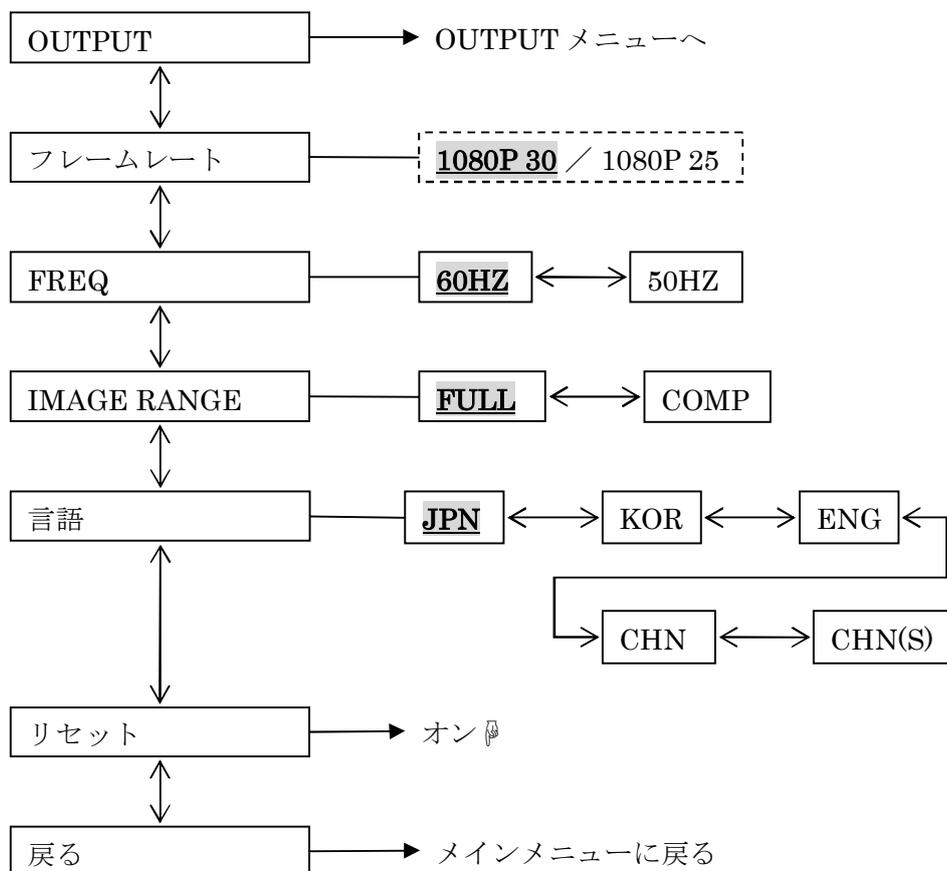


各 WINDOW USE の水平垂直の位置とサイズの初期値は次の表に示します。

WINDOW USE	0	1	2	3
水平位置	1	10	30	50
垂直位置	1	11	22	33
水平サイズ	50	20	20	20
垂直サイズ	32	11	11	11

4.1.8. システム

「システム」メニューでは、システムに関する詳細を設定することができます。

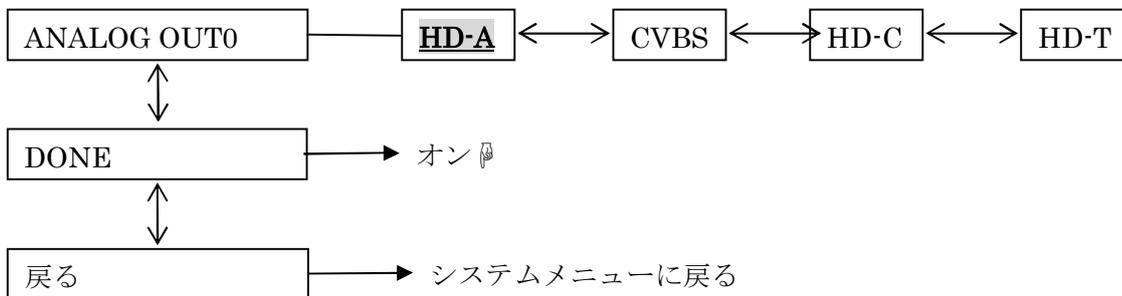


項目	説明
OUTPUT	出力する映像信号に関する設定をするための「OUTPUT」メニューに入ります。 詳細→37ページ
フレームレート	現在出力している映像信号の解像度とフレームレートを表示します。 1080P 30 ：FREQで「60HZ」を選択している場合に表示されます。 1080P 25 ：FREQで「50HZ」を選択している場合に表示されます。
FREQ	映像信号の基準になる周波数を設定します。 60HZ ：標準テレビジョン方式としてNTSC方式を採用する国や地域で選択します。 （日本） 50HZ ：標準テレビジョン方式としてPAL方式を採用する国や地域で選択します。
IMAGE RANGE	カメラの映像信号の出力レベルを次の中から選択できます。 FULL ：最大レベルで出力します。この設定では、比較的明るい映像になりますが、組み合わせる映像機器によっては白飛び（明るい部分が白く飽和する現象）が発生する場合があります。 COMP ：基準のレベルで出力します。この設定では最大レベルよりも少し低めのレベルで出力しますので、FULLより少し暗めの映像になりますが、より多くの機器に対する相互接続性を重視した設定です。 USER ：オフセット（黒レベルを）を必要に応じて調整できる「USER」メニューに入ります。 詳細→38ページ

言語	本機の画面に表示する設定メニューに使用する言語を次の中から選択出来ます。 J P N : 日本語 (弊社出荷時設定) K O R : 韓国語 E N G : 英語 C H N : 繁体中国語 CHN(S) : 簡体中国語
リセット	本機の設定をリセットします。 <div style="border: 1px solid black; background-color: #ffffcc; padding: 5px; text-align: center;"> <p>< 注 意 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 言語設定はリセットされません。 ● リセット後も「SAVE」でメニューを終了するまでは </div>
戻る	メインメニューに戻ります。

4.1.8.1. OUTPUT (システム)

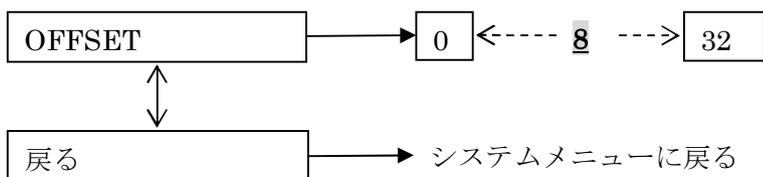
「OUTPUT」メニューでは、現在出力している映像信号のビデオフォーマットを変更出来ます。



項目	説明
ANALOG OUT0	出力する映像信号のビデオフォーマットを変更します。 HD-A : AHD 方式の信号を選択します。 CVBS : NTSC または PAL HD-C : CVI 方式の信号を選択します。 HD-T : TVI 方式の信号を選択します。 <div style="border: 1px solid black; background-color: #ffffcc; padding: 5px; text-align: center;"> <p>< 注 意 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ● ここで選択したビデオフォーマットは「DONE」で適用するまで変更されません。 </div>
DONE	ANALOG OUT0 で選択したビデオフォーマットを適用します。 <div style="border: 1px solid black; background-color: #ffffcc; padding: 5px; text-align: center;"> <p>< 注 意 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「DONE」で適用した後 30 秒間メニュー操作が何も行われない場合、メニューのタイムアウトと同時に変更は無効化されて元のビデオフォーマットに戻ります。 </div>
戻る	「システム」メニューに戻ります。

4.1.8.2. USER (システム→IMAGE RANGE→USER)

このメニューでは、出力する映像信号の黒レベルを調整出来ます。



項目	説明
OFFSET	黒レベルを 0 ～ 32 の範囲で調整出来ます。初期値は 8 です。 黒レベルをペダスタルレベルに合わせたい場合は 0 に設定してください。ただし、その場合 AGC を 0 に設定してカメラに入射光が無い場合でも、ヘッドアンプのノイズが少し出力されます。
戻る	「システム」メニューに戻ります。

輸入販売元

有限会社 インターラック

〒880-0951 宮崎県宮崎市大塚町窪田 3365-8

TEL: 0985-55-0752

FAX: 0985-55-0815

<http://www.interluck.co.jp>